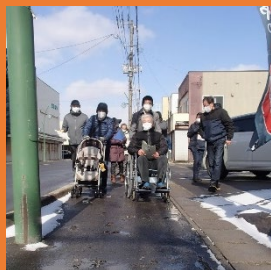


長万部町 バリアフリー マスタープラン

— 長万部町移動等円滑化促進方針 —



令和3年3月
長万部町

目 次

第1章	バリアフリーマスタープラン策定にあたって.....	1
1-1	策定の背景と目的.....	1
1-2	バリアフリーマスタープランの期間.....	1
1-3	バリアフリーマスタープランの位置づけ.....	2
第2章	移動等円滑化促進地区の概況.....	3
2-1	長万部町の概況.....	3
2-2	上位計画・関連計画における位置づけ.....	19
第3章	移動等円滑化の促進に関する基本的な考え方.....	24
3-1	基本理念.....	24
3-2	基本目標・基本方針.....	24
第4章	移動等円滑化促進地区等の設定.....	25
4-1	設定にあたっての考え方.....	25
4-2	移動等円滑化促進地区等の設定.....	27
第5章	移動等円滑化の促進に関する取組.....	28
5-1	移動等円滑化の促進に関する取組.....	28
5-2	心のバリアフリーに関する取組.....	29
5-3	届出制度.....	30
第6章	バリアフリーマスタープランの評価及び見直し.....	31
参考資料		32
1.	住民意向の把握.....	32
2.	令和元(2019)年度 まち歩き点検の実施.....	53
3.	令和2(2020)年度 まち歩き点検の実施.....	65
4.	長万部町バリアフリーマスタープラン策定経過.....	72
5.	長万部まちづくり推進会議 委員及び構成員名簿.....	73

第1章 バリアフリーマスタープラン策定にあたって

1-1 策定の背景と目的

長万部町においては、平成27(2015)年国勢調査で高齢化率は37.0%と非常に高い割合となっており、地域の活力を維持していく上では高齢者の自立と社会参加が不可欠となっています。また、令和12(2030)年度の北海道新幹線長万部駅の開業を控え、中心市街地の活性化、駅周辺の重点的な整備が急務となっています。

平成30(2018)年に改正された高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（以下「バリアフリー法」という。）においては、これまでの基本構想制度における具体の事業に関する調整が難航する等の課題に対応するため、移動等円滑化促進方針（以下「マスタープラン」という。）制度が創設されました。

マスタープラン制度は、旅客施設を中心とした地区や、高齢者、障がい者等が利用する施設が集まった地区（「移動等円滑化促進地区」）において、面的・一体的なバリアフリー化の方針を市町村が示すもので、広くバリアフリーについて考え方を共有し、具体の事業計画であるバリアフリー基本構想の作成に繋げていくことをねらいとしたものです。

このような状況を踏まえ、長万部町においては、バリアフリー法に基づくバリアフリーマスタープランを作成し、移動等円滑化促進地区におけるバリアフリー化を促進していくものです。

1-2 バリアフリーマスタープランの期間

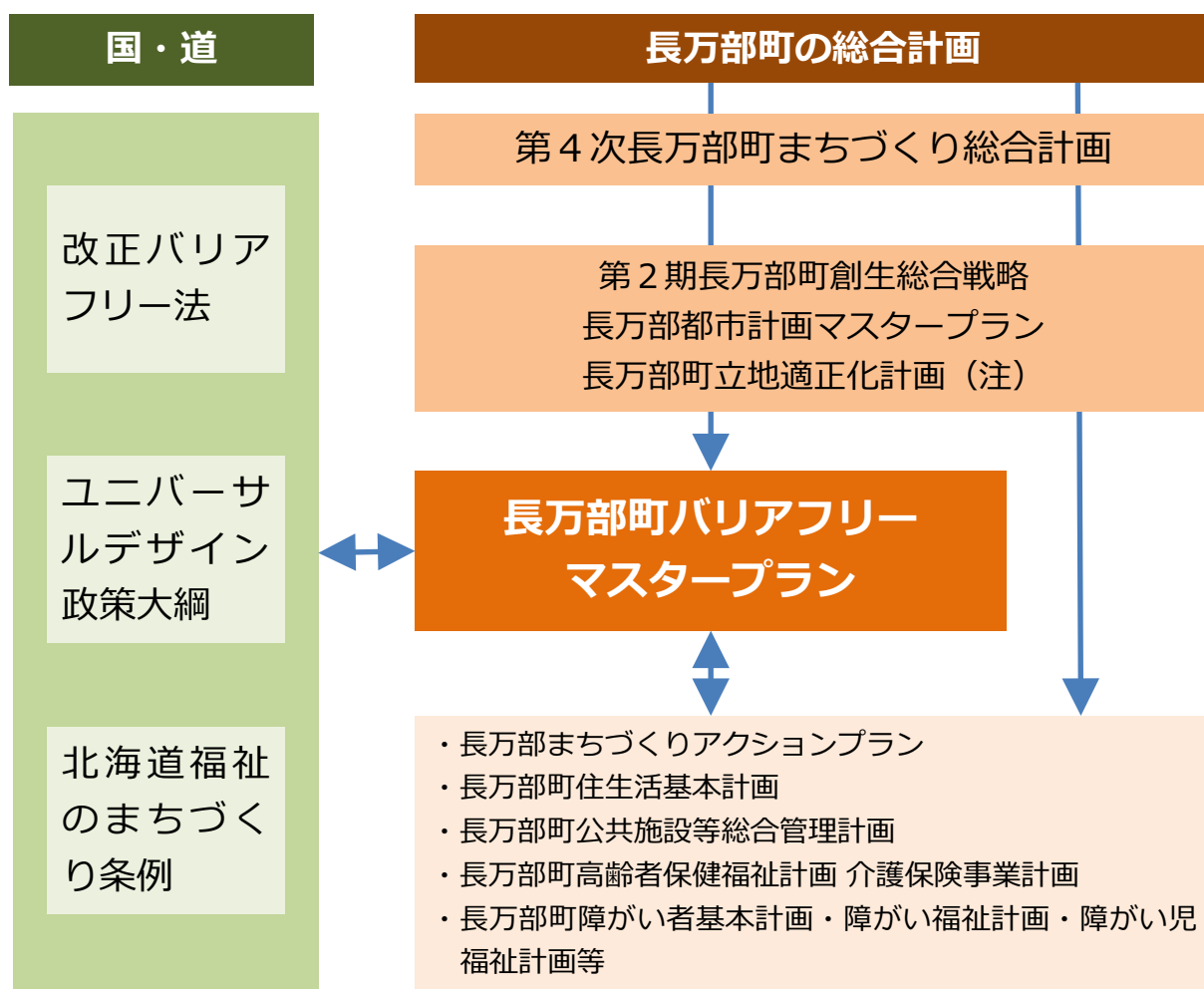
本マスタープランの期間は、令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間とします。

なお、長万部町においては、令和12(2030)年度の北海道新幹線の開業に向けて、今後駅周辺におけるさまざまな整備計画や事業が進められることから、概ね5年後をめぐりに計画の見直しを行うこととします。

1-3 バリアフリーマスタープランの位置づけ

本マスタープランは、改正バリアフリー法や国のユニバーサルデザイン政策大綱、北海道福祉のまちづくり条例に基づくとともに、上位計画である長万部町都市計画マスタープランや第2期長万部町創生総合戦略、第4次長万部町まちづくり総合計画と整合を図りながら策定を進めます。

図表 計画の位置づけ



(注) 長万部町立地適正化計画は令和3年度策定予定

第2章 移動等円滑化促進地区の概況

2-1 長万部町の概況

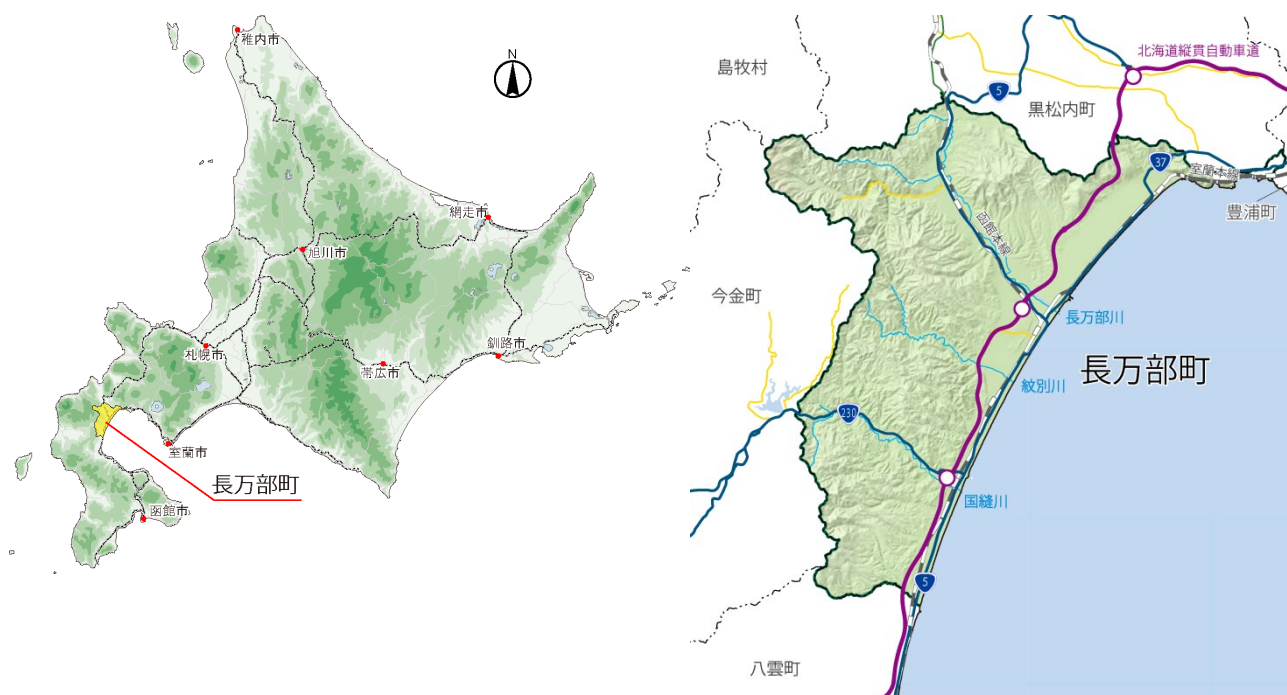
(1) 位置及び地形

長万部町は北海道南部、渡島半島の最北部に位置し、東は内浦湾と豊浦町、北は島牧村・黒松内町、西は今金町、南は八雲町に接しています。札幌市からは141km（中山峠経由）、函館市からは106km（国道5号経由）の地点にあり、道央と道南を結ぶ交通の要衝です。

地形は、概ね丘陵や山地によって占められ、平野は内浦湾に沿って帯状に分布し、長万部川、紋別川、国縫川の各流域に平坦な農耕地が広がっています。

町域は東西29.4km、南北28.4kmの範囲に広がり、総面積は310.76km²を有します。

図表 長万部町の位置



(2) 人口

① 総人口・世帯数の推移

長万部町の人口は、戦前の昭和15(1940)年に一度ピークがあり、その後昭和40(1965)年に戦後のピークとして15,349人に達しましたが、それ以降は一貫して減少傾向にあります。

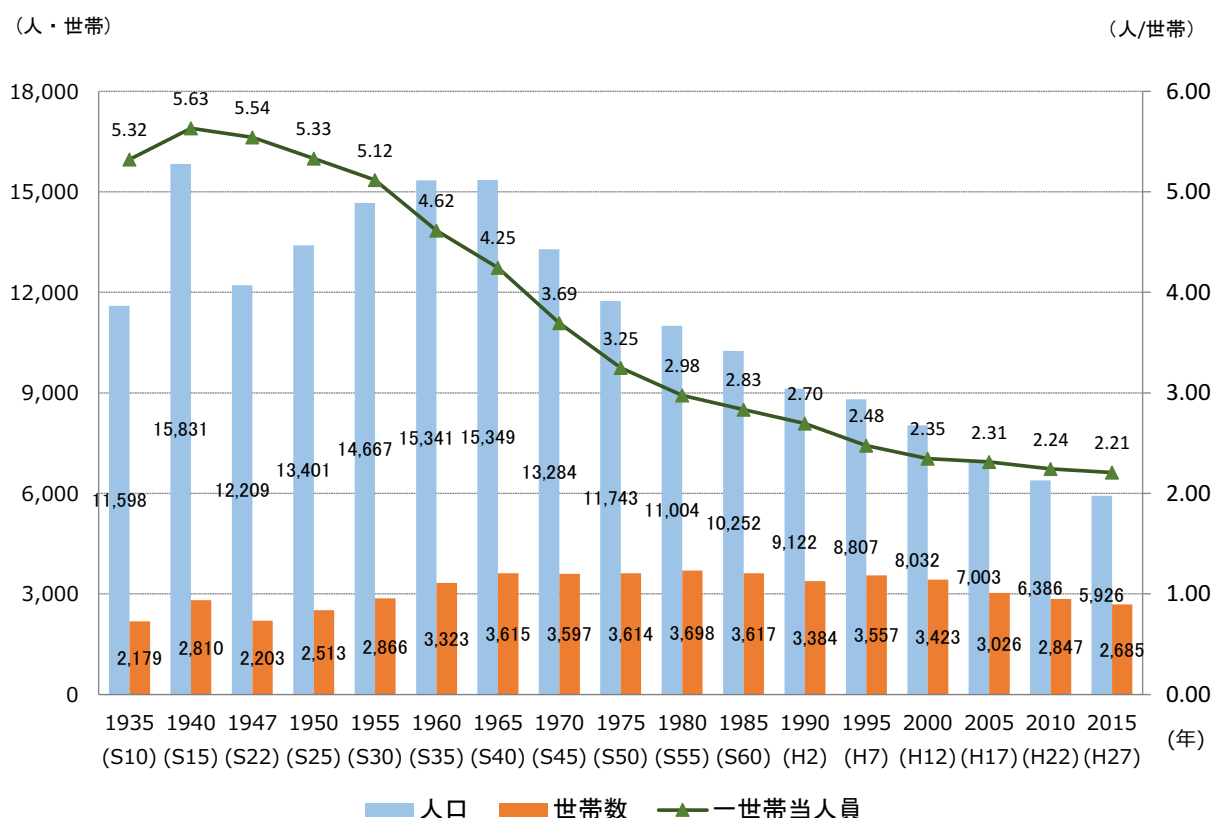
世帯数は、人口減少が始まった以降もほぼ横ばいで推移していましたが、平成7(1995)年以降は一貫して減少傾向にあります。

2015(平成27)年の国勢調査では、人口は5,926人、世帯数は2,685世帯、一世帯当たりの人員は2.21人/世帯となっています。

20年前の平成7(1995)年時点と比較すると、人口は2,881人、世帯数は872世帯減少し、平成7(1995)年時点からそれぞれ67%、75%の水準となっています。

令和2(2020)年9月末の住民基本台帳人口は5,135人まで減少しています。

図表 長万部町の人口・世帯数・一世帯当たり人員の推移



資料：各年国勢調査

② 年齢3区分別人口

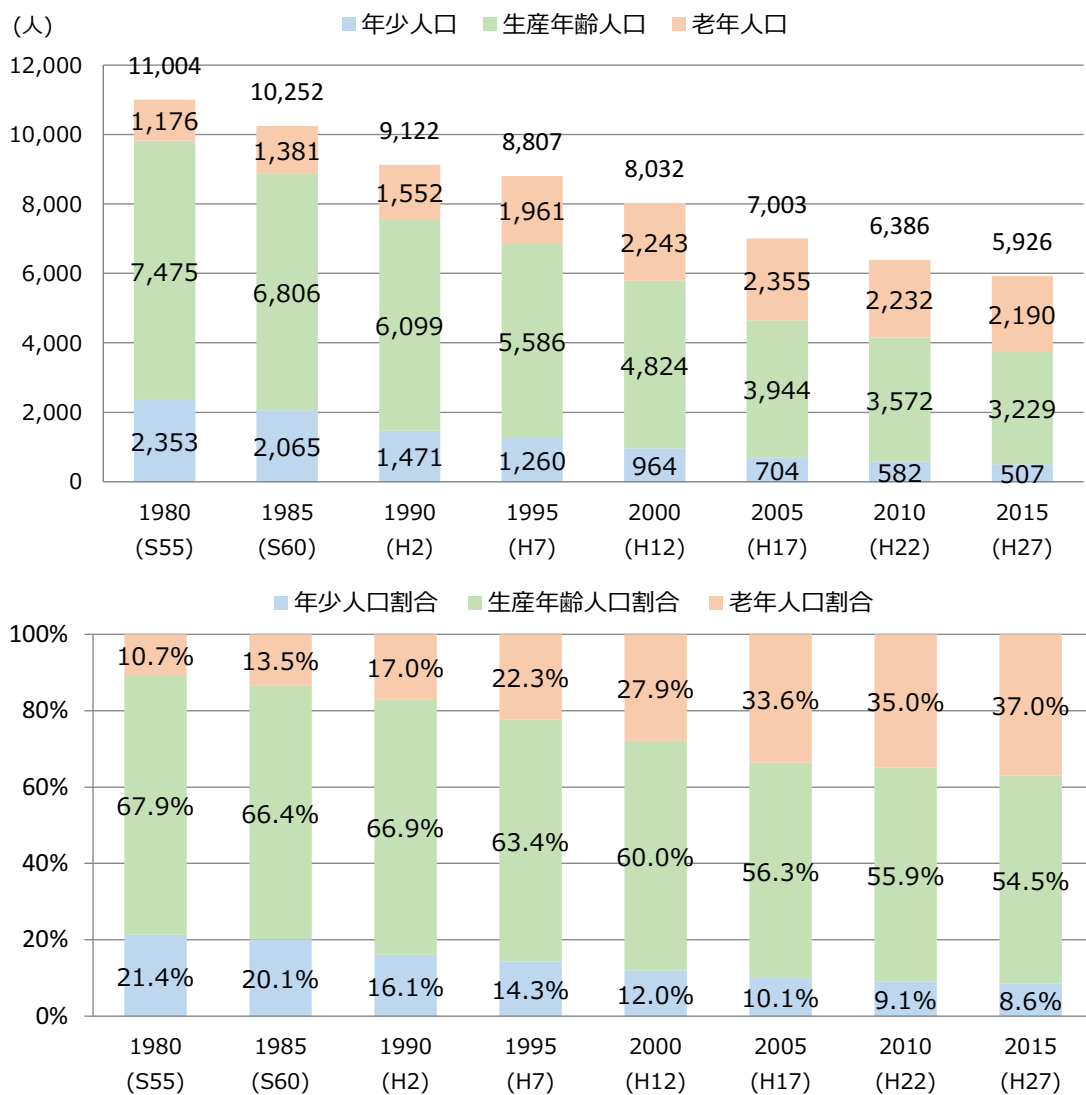
年齢3区分別人口をみると、年少人口(0～14歳の人口)は昭和55(1980)年から急激に減少し、平成27(2015)年には昭和55(1980)年の21.5%の水準となっています。

生産年齢人口(15～64歳の人口)も昭和55(1980)年から一貫して減少傾向にあり、平成27(2015)年には昭和55(1980)年の43.2%の水準となっています。

老年人口(65歳以上の人口)は昭和55(1980)年から増加傾向にあったが、平成17(2005)年をピークに減少に転じています。また老年人口率は平成17(2005)年で37.0%と、北海道平均(29.1%)と比べ大きく高い状況にあります。

令和2(2020)年9月末の住民基本台帳人口では、老年人口率は42.8%となり、40%を超えています。

図表 年齢3区分別人口及び構成比の推移

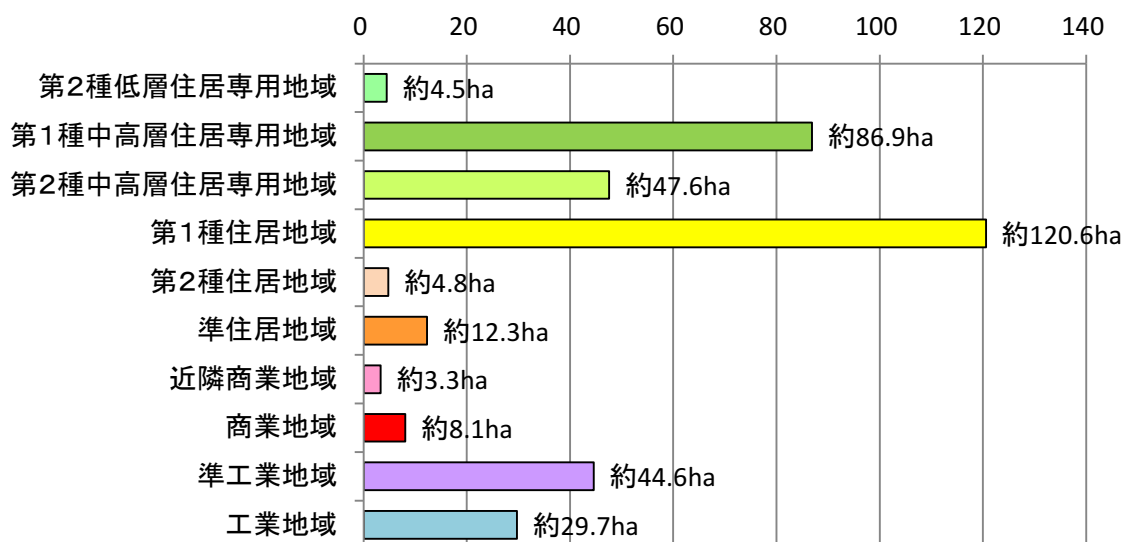


資料：各年国勢調査

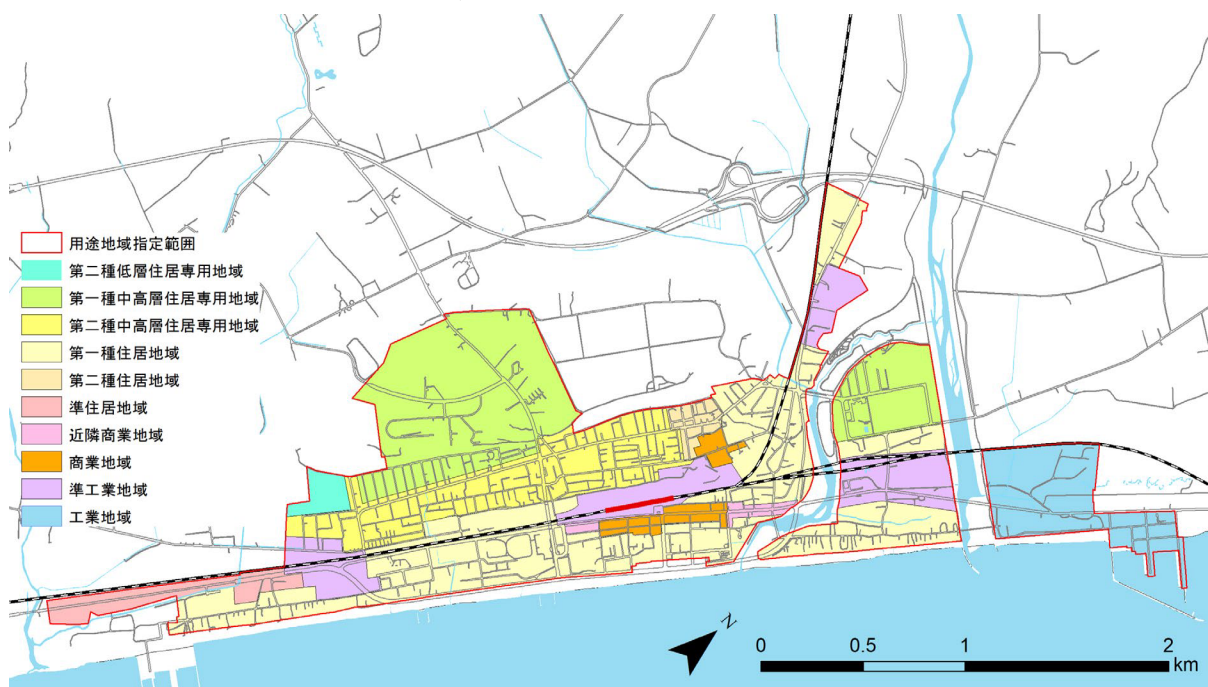
(3) 用途地域の指定状況

長万部町には、10種類の用途地域が指定され、用途地域の総面積は約362.4haとなっています。

図表 用途地域の指定面積



図表 用途地域の指定状況



(4) 交通

① 道路

長万部町は、札幌市と函館市を結ぶ国道5号、室蘭市と長万部町を結ぶ国道37号、札幌市とせたな町を結ぶ国道230号の3本の国道が町内を通る交通の要衝となっています。

国道5号は、国縫地区から長万部地区までは海岸沿いを通り、長万部地区で国道37号・国道230号と分岐した後、内陸方向へと進路を変えて倶知安方面へ、国道37号は長万部地区から静狩地区まで平野部の海岸沿いを通り、その後の山岳区間を経て室蘭市へ、国道230号は静狩地区から国縫地区まで国道37号・国道5号との重複区間となっていますが、国縫地区で国道5号と分岐し、内陸方向へと進路を変えて、せたな方面へと至ります。

近年は道央自動車道の整備も進み、平成9(1997)年には長万部ICが、平成13(2001)年には国縫ICが供用開始され、交通の拠点としての機能が強化されています。

図表 広域道路網図



長万部市街地内の道路の整備状況をみると、鉄道が市街地を通ることにより、海側と山側とを結ぶ道路網が少なく、市街地が鉄道により分断されています。

都市計画道路は、中央通、中山大通、学苑海岸通の3本の都市計画道路が鉄道と交差する路線として計画されていますが、中央通を除く2本の道路は未改良であり、海側と山側の市街地をつなぐ道路の整備が遅れています。

図表 都市計画道路の整備状況

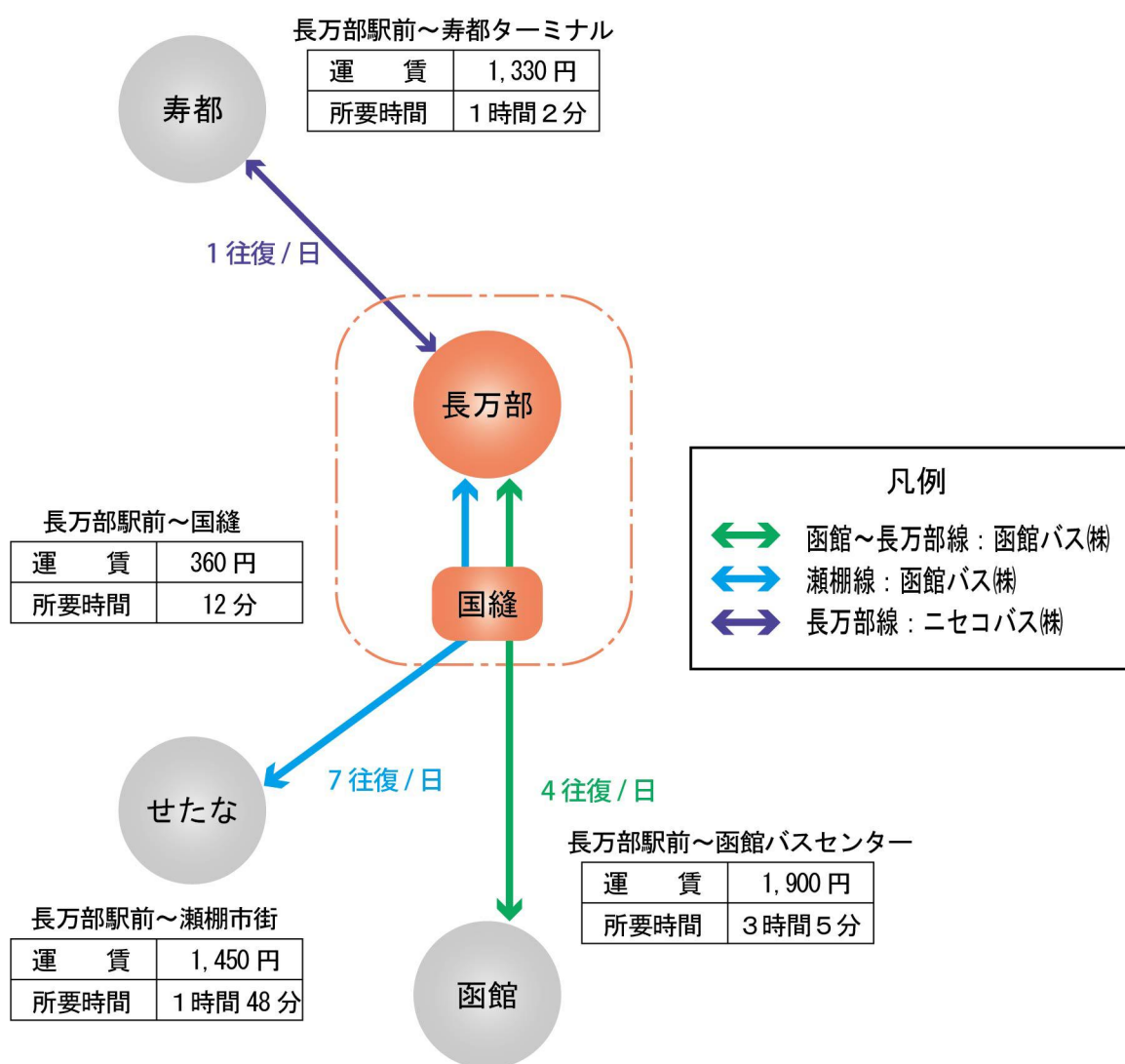


③ バス

長万部町におけるバスの運行状況は、函館バス(株)が運行する路線バスにより函館方面・せたな方面と、ニセコバス(株)が運行する路線バスにより寿都方面と結ばれています。

運行頻度は、函館～長万部は4往復/日、せたな～長万部は7往復/日、寿都～長万部は1往復/日運行しています。

図表 バスの運行状況

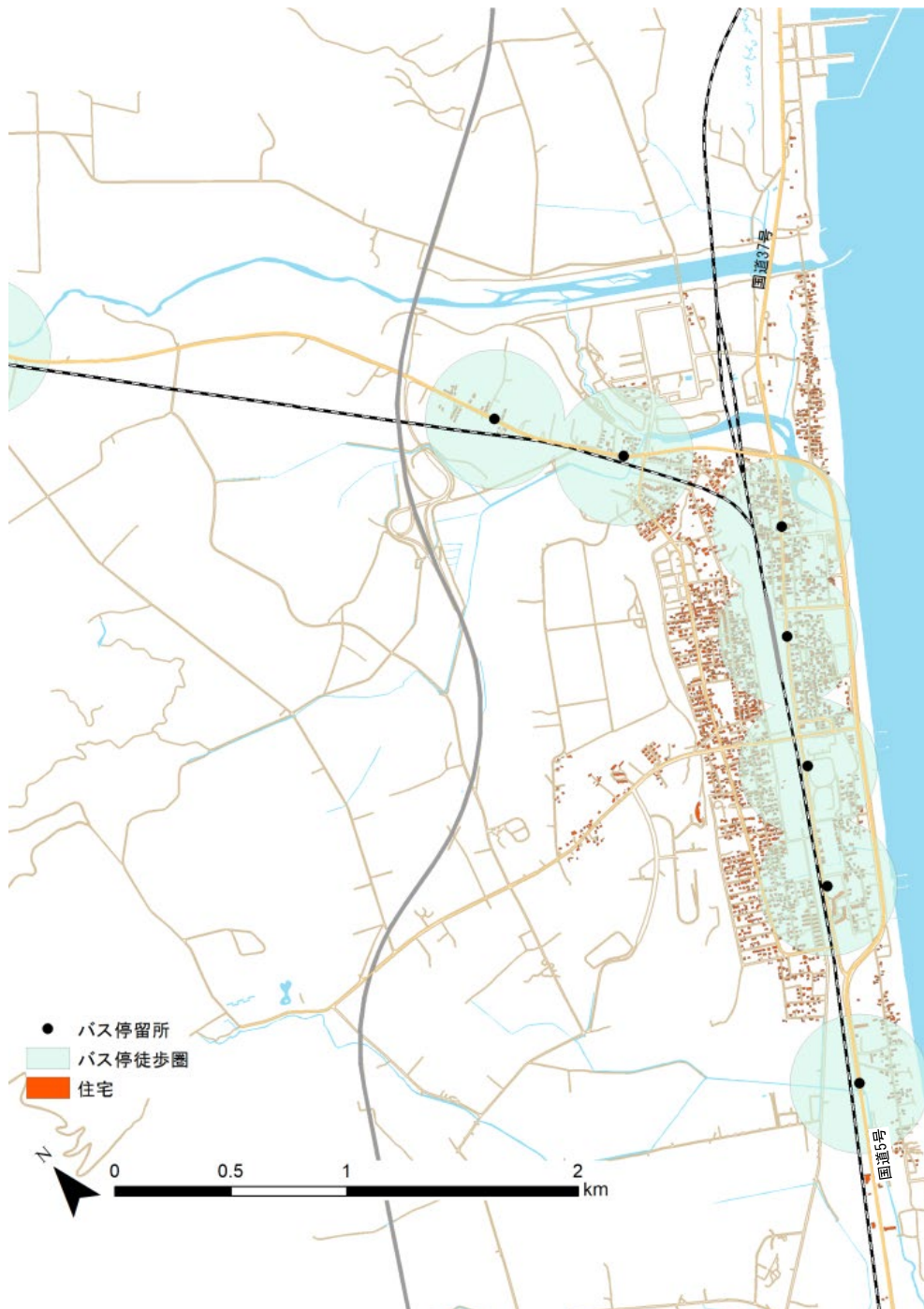


※運行本数は令和2(2020)年12月現在

路線バスのルートは国道5号と本町通を通り、函館方面・せたな方面を結ぶ路線バスは長万部バスターミナル発着、寿都方面を結ぶ路線バスは長万部駅前発着となっています。

市街地内の路線バスの停留所の徒歩圏(300m)のカバー状況をみると、主に鉄道より山側の住宅の多くがカバーできずに、利便性が低い状況となっています。

図表 路線バスと停留所の徒歩圏(300m)



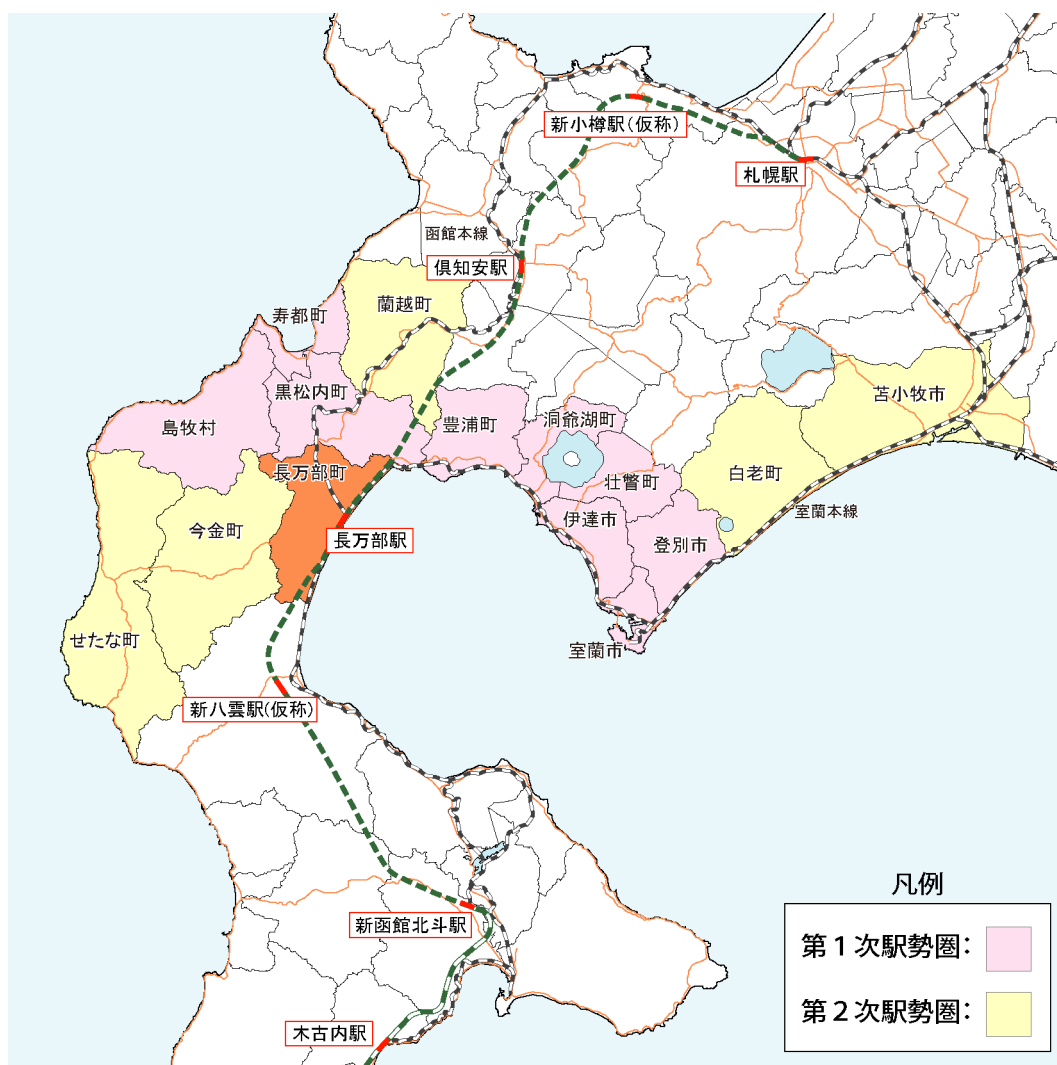
④ 北海道新幹線

令和12(2030)年度には、北海道新幹線(新函館北斗～札幌間)が開業予定となっており、長万部町内には、現在の長万部駅の位置に新幹線長万部駅が設けられます。

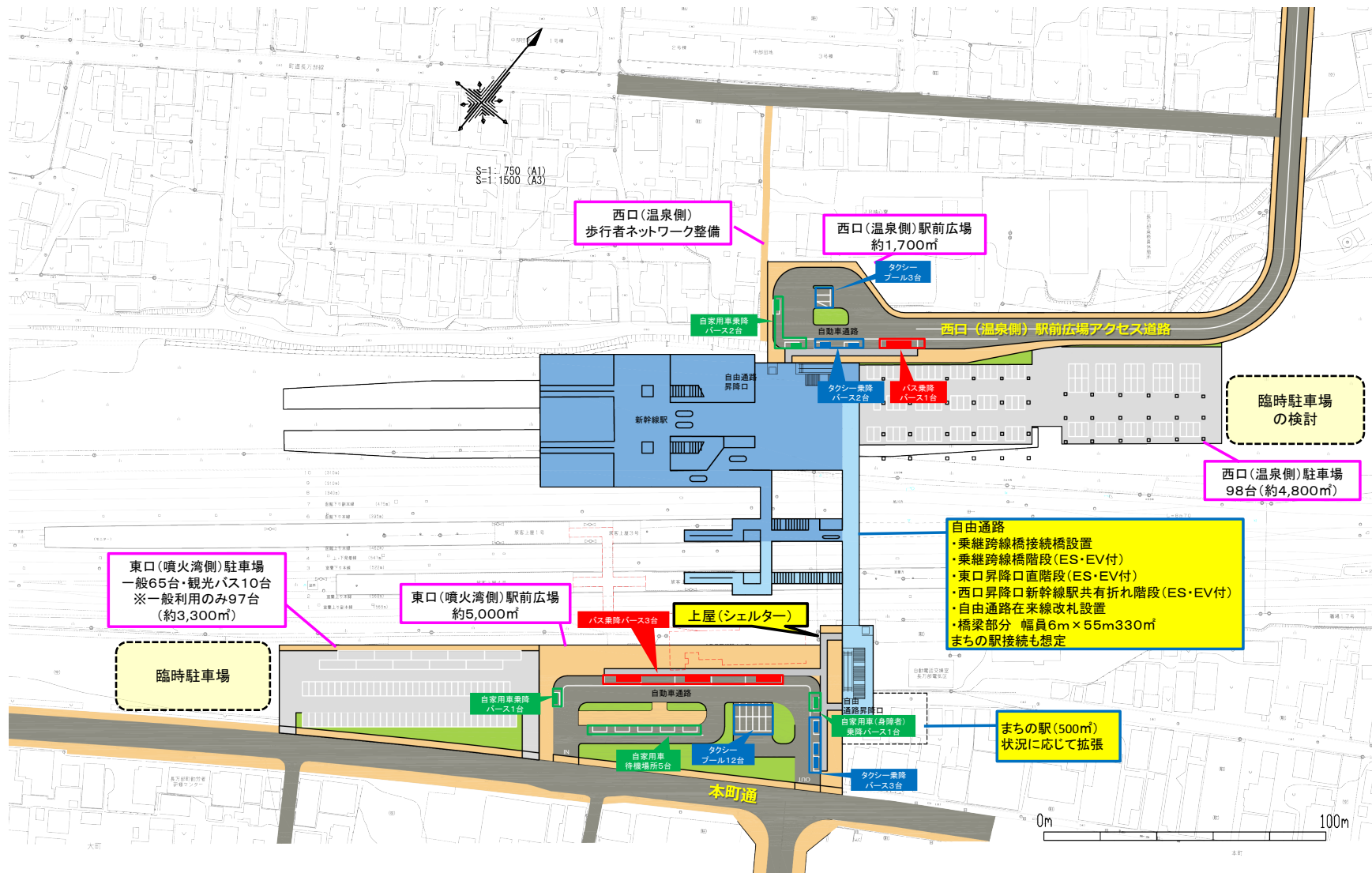
新幹線長万部駅は、室蘭・苫小牧方面への乗換駅となることから、関東・東北方面からの新幹線利用客の重要な中継駅となるとともに、観光面では、洞爺湖や登別温泉等の観光地への玄関口としての位置づけも期待されます。

新幹線長万部駅の駅勢圏は、室蘭市など10市町村が「第1次駅勢圏」に、苫小牧市なども加えた15市町村が「第2次駅勢圏」と見込まれています。

図表 北海道新幹線長万部駅の駅勢圏



図表 東口及び西口駅前広場の整備イメージ（平成29(2017)年度）



資料：長万部まちづくりアクションプラン（平成30(2018)年3月）

(5) 生活関連施設立地状況

① 公共施設立地状況

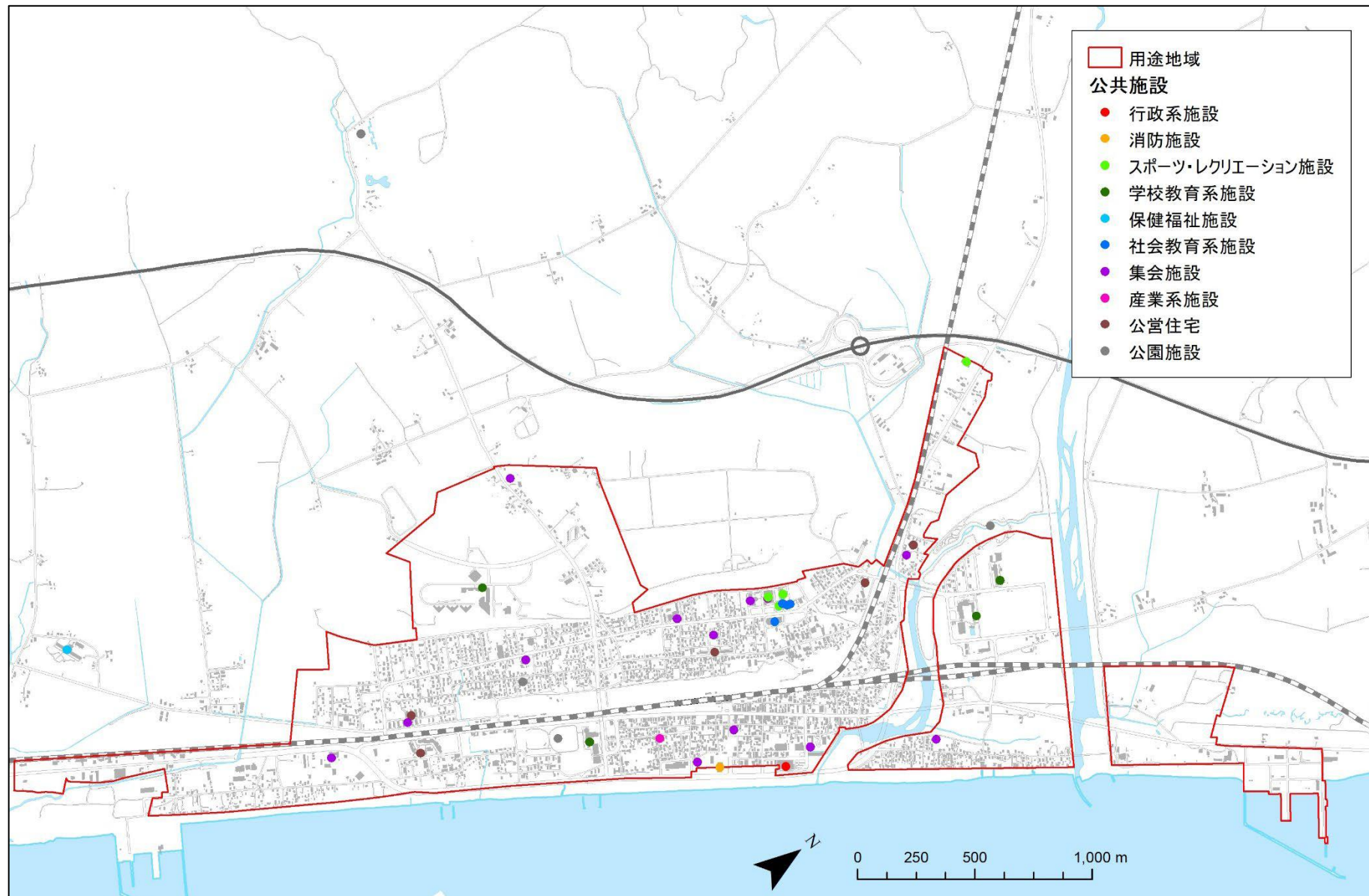
都市計画区域内に立地し、町民利用のある公共施設について、立地状況を整理しました。

図表 長万部町の公共施設の一覧

分類	施設名称
行政系施設	本庁舎・健康センター(長万部町役場)
産業系施設	勤労者研修センター
消防施設	消防庁舎
スポーツ・レクリエーション施設	ファミリースポーツセンター
	長万部町B&G海洋センター
	青少年会館
	町民体育館
学校教育系施設	長万部小学校
	長万部中学校
	長万部高等学校
	東京理科大学
社会教育系施設	学習文化センター
	町民センター
	植木蒼悦記念館
	平和祈念館
集会施設	長万部町福祉センター
	旭浜生活館
	大浜振興会館
	陣屋生活館
	高砂振興会館
	ファミリースポーツセンター
	長万部振興会館
	富野振興会館
	多目的活動センターあつまんべ
	南栄町老人憩の家
	新開寿の家
	特別母と子の家
保健福祉施設	老人福祉センター
公営住宅	あやめ団地
	はまなす団地
	神社下団地
	中部団地
	南部団地
公園施設	長万部公園
	あやめ公園
	ふれあい公園
	みなみ児童公園

注) 都市計画区域内に立地し、町民利用のある公共施設を対象とした。

図表 公共施設位置図



② 生活関連施設立地状況

以下に示す医療施設、福祉施設、食料品店、子育て支援施設について、その立地場所から、住民生活の利便性(徒歩圏のカバー状況)を検証しました。

図表 長万部町の都市機能施設

分類	細分類	施設名称
医療施設	病院	長万部町立病院
福祉施設	通所介護	長万部町デイサービスセンター
	介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム長万部慈恵園
	認知症対応型共同生活介護	グループホーム平里の家
食料品店	スーパーマーケット	ラルズマート長万部店
	ドラッグストア	ツルハドラッグ長万部店
	コンビニエンスストア	セイコーマート長万部センター通店
		セブンイレブン長万部大浜店
		セブンイレブン長万部店
		ローソン長万部大浜店
	その他食料品店	中森商店
		木戸商店
		野呂食料品店
		青沼商店
子育て関連施設	幼稚園	長万部マリア幼稚園
	保育園	長万部町立さかえ保育所
		いずみ保育園
	学童保育所	長万部学童保育・ななかまど
	子育て支援センター	長万部町子育て支援センター

注1) 都市機能施設の選定方法は以下の通りです。

医療施設：内科、小児科、外科のいずれかをもつ病院、診療所

福祉施設：通所介護、介護老人福祉施設、認知症対応型共同生活介護施設

食料品店：スーパーマーケット、コンビニエンスストア、その他、食料品を扱う商店

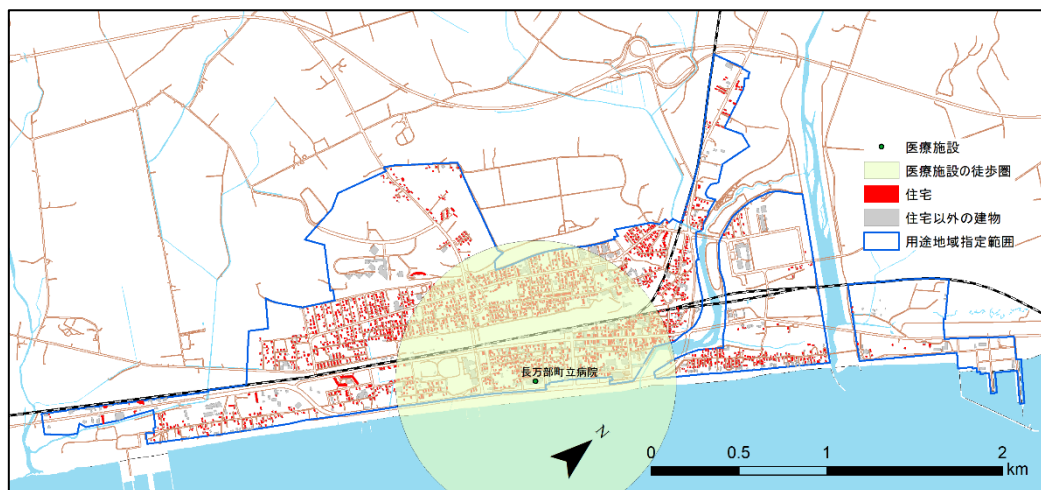
子育て関連施設：保育園、幼稚園、認定こども園、小規模保育事業所

注2) 「都市構造の評価に関するハンドブック(H26、国土交通省)」を参考に、徒歩圏は800mとします。

1) 医療施設

町内にある内科・小児科をもつ医療施設は長万部町立病院のみであり、長万部駅近くの国道沿いに立地しています。施設から半径800mのカバー状況をみると、市街地の北部と南部にカバーできていない住宅が多く存在しています。

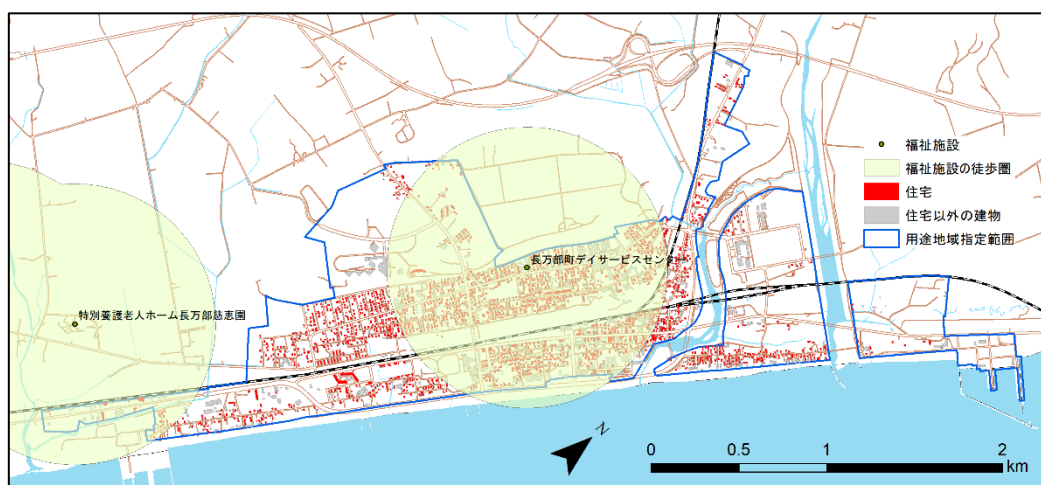
図表 医療施設の徒歩圏(800m)



2) 福祉施設

福祉施設は、長万部町内には3施設立地し、市街地に長万部町デイサービスセンターが、市街地外にその他の2施設が立地しています。施設から半径800mのカバー状況をみると、医療施設と同様に、市街地の北部と南部にカバーできていない住宅が多く存在しています。

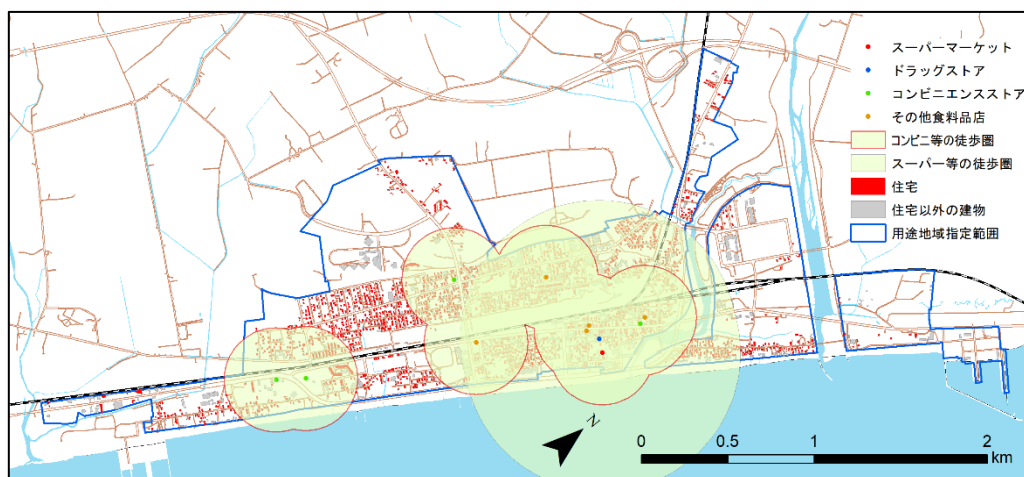
図表 福祉施設の徒歩圏(800m)



3) 食料品店

食料品店は、スーパーが1軒、ドラッグストアが1軒、コンビニが4軒、その他の食料品店が4軒、市街地内に立地しています。スーパーから半径800mのカバー状況をみると、市街地の南部にカバーできていない住宅が多く存在しています。また、コンビニやその他の食料品店から半径300mのカバー状況をみると、市街地の北部と南部の多くの住宅が徒歩圏外となっています。

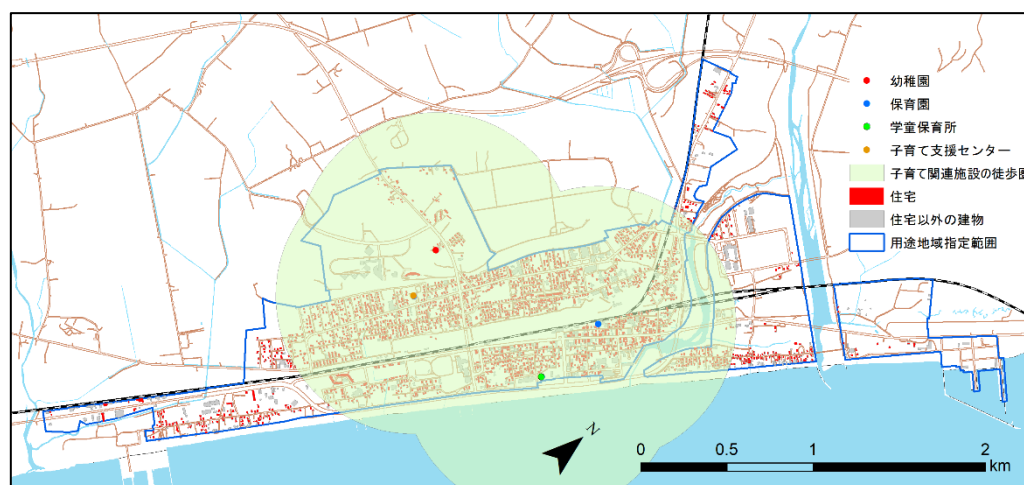
図表 食料品店の徒歩圏(800m)



4) 子育て関連施設

子育て関連施設は、保育所2軒、幼稚園、学童保育所、子育て支援センターが立地しています。施設から半径800mのカバー状況をみると、市街地の大部分の住宅がカバーできている状況にあります。

図表 子育て関連施設の徒歩圏(800m)



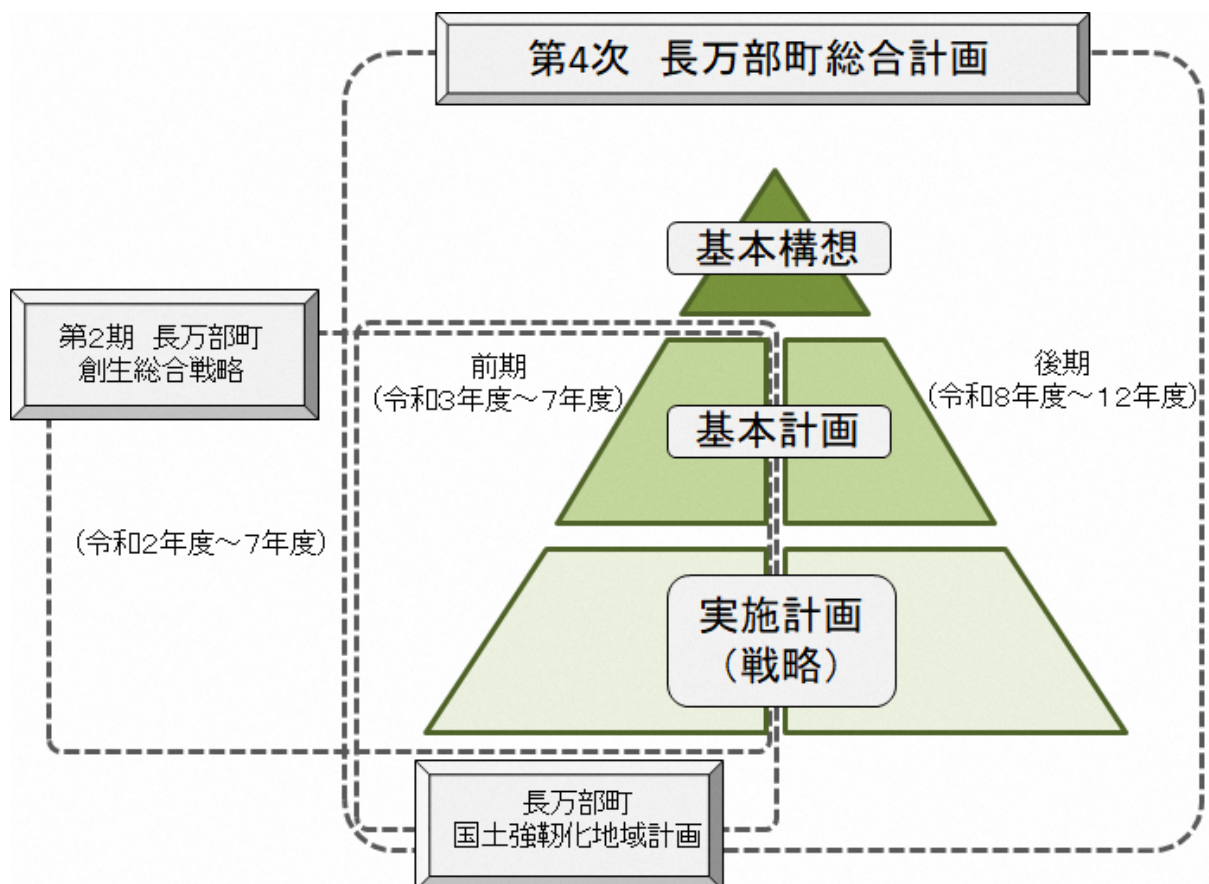
2-2 上位計画・関連計画における位置づけ

(1) 第4次長万部町まちづくり総合計画

第4次長万部町まちづくり総合計画は、長万部町の最上位計画であり、「基本構想」・「基本計画」・「実施計画」で構成されます。

基本構想では、10年後の長万部町のあるべき姿としての将来像と、それを実現するためのまちづくりの基本目標と基本的な政策の方向性、さらには、施策の大綱を示し、基本計画や実施計画の基礎となるもの、令和3（2021）年度から令和12（2030）年度までの10年間の計画です。

図表 第4次長万部町総合計画の位置づけ



図表 第4次長万部町総合計画 施策の大綱

将来像	基本目標	政策項目
ひらけ！つなぐ！おしゃまんべー！ — みんなで楽しい未来へ —	1 【生活・環境】 豊かで快適な環境と 美しい景観のまちづくり	(1) 美しい自然環境の保全と利活用 (2) 居住環境の充実 (3) 新幹線の開業を見据えた 移住・定住の促進 (4) 環境衛生の推進
	2 【健康・保健・福祉】 男女が共に支え合う 健やかな地域社会づくり	(1) 男女共同参画の推進 (2) 子育て支援体制の充実 (3) 健康づくりの推進 (4) 福祉社会の推進 (5) 温かな地域社会の形成
	3 【学び・スポーツ・文化】 地域の未来を創造する 人づくり文化づくり	(1) 生涯学習の推進 (2) 家庭・学校教育の充実 (3) 地域文化の育成
	4 【産業】 世界とつながり躍動する 地域産業づくり	(1) 新時代の市場環境に適応した 力強い農林水産業の確立 (2) 新幹線開業に備えた 産業基盤の確立 (3) 地域の雇用創造を促進する 交流人口の拡大
	5 【生活基盤】 安心・安全で 暮らしやすいまちづくり	(1) 生活基盤の整備 (2) 交通ネットワーク及び 生活交通の維持・確保 (3) 安心して暮らせる地域づくり
	6 【協働】 手を取り合って 未来を拓くまちづくり	(1) 町民主体のまちづくり活動の推進 (2) 行財政改革の推進 (3) 多様な「緑」を基盤にした 関係人口の拡大 (4) 近隣市町村との連携・交流

（２）第２期長万部町創生総合戦略

『第２期長万部町創生総合戦略』は、長万部町の「まち・ひと・しごとの創生」に向けた目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

本戦略の対象期間は令和2(2020)年度から令和7(2025)年度までの６年間ですが、『第４次長万部町まちづくり総合計画』の一部と連動することから、そのため、総合計画として広い視野と計画的視点に立ち、目指すべき姿とその実現に必要な方策を明らかにする地域経営の基本方針という性格を併せ持ちます。

図表 基本戦略と主な施策

戦略 1	地域資源と地理的条件を活かした「稼げる」産業基盤と雇用の場づくり ①新幹線開業に備えた産業基盤の確立 ◎長万部温泉街の魅力創出 ◎観光消費を雇用につなげる取組の推進 ◎商店街や温泉街での起業支援の促進 ②新時代の市場環境に適応した力強い食関連産業の確立 ◎ホタテを中心としたつくり・育てる漁業の基盤づくり ◎生産性が高く、魅力ある就農環境の形成 ◎地域の素材を活かした特産品開発と６次産業化の推進
戦略 2	新幹線駅を核とした人を惹きつける魅力あふれるまちづくり ①地域の雇用創造を促進する交流人口の拡大 ◎新幹線開業を視野に入れた多様な交流人口（外国人、道外客、宿泊客）を受け入れる基盤づくり ◎「おしゃまんべ毛がにまつり」などイベントの充実強化 ◎温泉施設を活用した合宿誘致 ②多様な「縁」を基盤にした関係人口の拡大 ◎東京理科大学の知的資源を活かしたまちづくり ◎地域の将来を支える人材確保に向けた小・中・高生のふるさと教育の推進・支援 ③新幹線の開業を見据えた移住・定住の促進 ◎「空き家バンク」や「移住ナビ」の整備、移住支援事業など情報発信の強化 ◎地域おこし協力隊の活用と定住化の促進 ◎空き家・空き店舗などを活用した新世代のICT環境に対応したサテライトオフィス等の誘致促進
戦略 3	若者・女性が輝ける、子育て環境に恵まれた住みやすいまちづくり ①子育て支援体制の充実 ◎子育て支援センターを核とした各種相談実施 ◎若い世代が安心して子育てできる支援環境（学童保育、一時保育等）の形成 ②高校や大学、若者世代が輝くまちづくり ◎高大連携の推進 ◎長万部高校の魅力向上に向けた各種取組の実施 ◎理科大との連携による小中高生への学習支援活動の実施 ◎情報化・AI社会に対応できる子どもの育成
戦略 4	広域的な地域連携が進む安心して暮らせるまちづくり ①生活交通の維持・確保 ◎持続的で効率的な地域公共交通サービスの提供に向けた検討 ◎老人福祉バスの運行やタクシー料金の助成 ②安心して暮らせる地域づくり ◎地域防災体制の充実 ◎地域医療や消防救急体制の充実（安心できる医療の確保） ◎介護人材の確保など福祉を担う人材育成 ③近隣市町村との連携・交流 ◎「はしっこ同盟」など近隣自治体との交流・連携推進

(3) 長万部都市計画マスタープラン

長万部都市計画マスタープランでは、まちづくりの課題を踏まえた上で、まちづくりの方向性を「(1) まちの魅力・回遊性を高めるまちづくりの推進」、「(2) 地域の活力を高めるまちづくりの推進」、「(3) 災害に強く持続可能なまちづくりの推進」の3点を設定しています。

このまちづくりの方向性を踏まえ、長万部町の都市構造について、広域的な交通骨格軸、これを補完する市街地骨格軸を位置づけるとともに、長万部駅を中心とする市街地を重点市街地拠点として位置づけています。

さらに道路・交通の基本方針において、「中心市街地におけるバリアフリー化の推進」が位置づけられています。

図表 まちづくりの方向性



図表 将来都市構造



図表 道路・交通の基本方針図



第3章 移動等円滑化の促進に関する基本的な考え方

3-1 基本理念

第4次長万部町まちづくり総合計画における町の将来像「ひらけ！つながれ！おしゃまんべ！！」を踏まえ、長万部町における移動等円滑化の促進に関する基本理念を以下の通り設定します。

拓け！安心、安全、快適がつながる「おしゃまんべ」

～お互いを支えあい、誰もが安心、安全、快適に移動できるまちづくり～

3-2 基本目標・基本方針

基本目標（1）安心、安全、快適がつながる暮らしやすいまちの実現

全般的に老朽化した施設が多い長万部町においては、バリアフリー化が実現していない施設が多くあります。このため、公共施設はもとより、多くの町民が利用する施設についてバリアフリー化を推進していきます。

高齢者や障がい者等の移動に配慮し、生活関連経路のみにとどまらず、歩道のない道路であっても安心、安全に移動できる都市環境の形成に努め、快適に移動できる歩行者ネットワークの形成を図ります。

また、地域公共交通計画の策定を進め、自家用車に頼らなくても生活できる公共交通ネットワークの構築を目指します。

基本方針① 主要施設のバリアフリー化の推進

基本方針② バリアフリー歩行者ネットワークの形成

基本方針③ 公共交通による移動の充実

基本目標（2）心を開き、お互いを支え合える心のバリアフリーの推進

高齢者、障がい者等が安心して日常生活や社会生活が出来るようにするためには、施設整備（ハード面）だけではなく、高齢者、障がい者等の困難を自らの問題として認識し、心を開き、その中にあるバリアを取り除き、社会参加に積極的に協力する「心のバリアフリー」が重要です。

基本方針④ 理解を深めるための啓発・広報活動の推進

基本方針⑤ 行動につながる幅広い教育活動の推進

第4章 移動等円滑化促進地区等の設定

4-1 設定にあたっての考え方

(1) 移動等円滑化促進地区

移動等円滑化促進地区の要件は、バリアフリー法で以下のように定められています。

移動等円滑化促進地区の要件

(1) 生活関連施設があり、かつ、それらの間の移動が通常徒歩で行われる地区

原則として生活関連施設のうち旅客施設または特別特定建築物（官公庁施設、福祉施設等）に該当するものが概ね3以上あること。生活関連施設が徒歩圏内に集積している地区として、面積約400ha未満の地区。

(2) 生活関連施設及び生活関連経路についてバリアフリー化の促進が特に必要な地区

高齢者、障がい者等の移動や施設利用の状況、土地利用や諸機能の集積の状況や、これらの将来の方向性の観点から総合的に判断し、一体的なバリアフリー化の促進が特に必要な地区であること。

(3) バリアフリー化を促進することが、総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切な地区

地区におけるバリアフリー化の促進が、高齢者、障がい者等に交流と社会参加の機会を提供する機能、消費生活の場を提供する機能、勤労の場を提供する機能等の増進を図る上で有効かつ適切であると認められる地区であること。

(4) 境界の設定等

移動等円滑化促進地区の境界は、町界・字界、道路、河川、鉄道等の施設、都市計画道路等によって明確に表示して定めること。

長万部町においては、生活関連施設は長万部地区に集中して立地しています。

また長万部市街地は、長万部駅を中心に南北に細長くコンパクトに形成され、都市計画の用途地域が指定されているエリアは約362.4haであり、要件で示されている400haにも満たない面積の中に主要な生活関連施設が立地しています。

このため、長万部町における移動等円滑化促進地区は、生活関連施設の立地状況及び町営住宅団地の立地状況なども踏まえ、都市計画マスタープランにおける重点市街地拠点を含み、長万部駅を中心に、長万部市街地を概ねカバーするエリアとして、都市計画道路を中心とした境界で設定します。

(2) 生活関連施設

ガイドラインで想定されている生活関連施設を踏まえ、長万部町においては、「旅客施設」、「官公庁等施設」、「教育・文化・交流施設」、「医療・福祉施設」、「商業施設」、「公園・運動施設」の6つの区分に基づき、移動等円滑化促進地区内にある下表の施設を生活関連施設として設定します。

図表 生活関連施設

区 分	施設名称
旅客施設	・長万部駅 (北海道新幹線長万部駅：令和12(2030)年度開業予定)
官公庁等施設	・長万部町役場 ・長万部郵便局 ・北洋銀行長万部支店 ・北海道信用金庫長万部支店 ・新函館農業協同組合長万部支店
教育・文化・交流施設	・長万部小学校 ・いずみ保育園 ・さかえ保育所/子育て支援センター ・学習文化センター ・町民センター ・青少年会館 ・多目的活動センター「あつまんべ」
医療・福祉施設	・町立病院 ・福祉センター
商業施設	・ラルズマート ・ツルハドラッグ ・イエローグローブ
公園・運動施設	・ファミリースポーツセンター ・B & G海洋センター ・ふれあい公園

(3) 生活関連経路

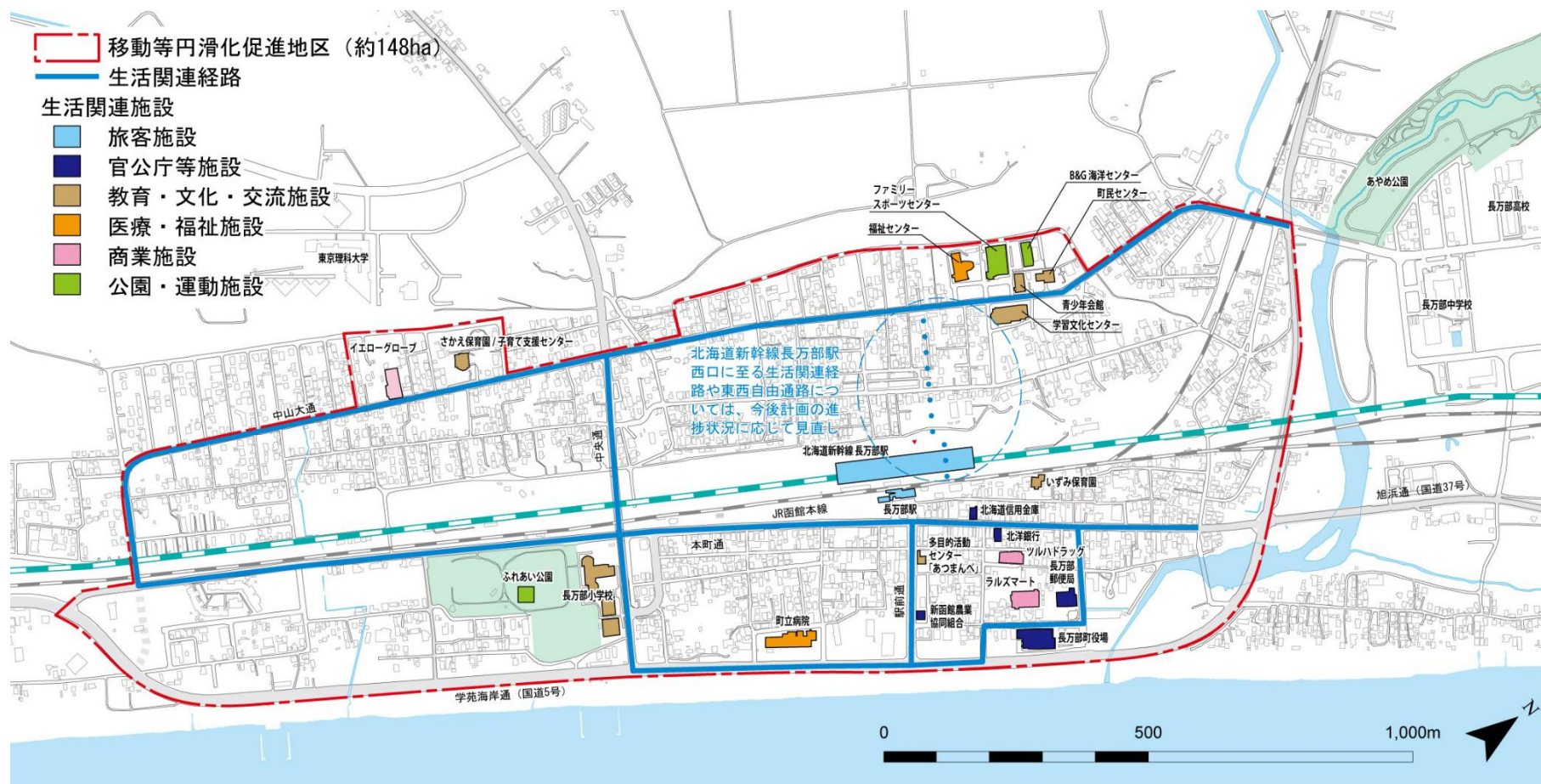
旅客施設を中心に、生活関連施設間をネットワークするよう生活関連経路を設定します。設定にあたっては、歩道がある、もしくは歩道を整備できる幅員がある道路を基本とします。

なお、令和12(2030)年度の開業が予定されている北海道新幹線長万部駅については、まだ設計以前の段階で、駅西口の駅前広場やアクセス道路も整備計画も未定の状況ですが、これらの施設の開業・整備を念頭におき、計画の進捗に応じて生活関連経路の設定を見直していきます。

4-2 移動等円滑化促進地区等の設定

「4-1 設定にあたっての考え方」を踏まえ、長万部町における移動等円滑化促進地区及び生活関連施設・生活関連経路を下図の通り設定します。

図表 移動等円滑化促進地区及び生活関連施設・生活関連経路（面積約148ha）



第5章 移動等円滑化の促進に関する取組

5-1 移動等円滑化の促進に関する取組

基本方針① 主要施設のバリアフリー化の推進

- ・ 車いす利用者等に配慮した出入口の段差の解消、幅の確保
- ・ 室内の段差の解消
- ・ 高齢者や障がい者等が利用しやすいトイレの設置
- ・ 階段や廊下への手すり等の設置
- ・ 障がい者等専用の駐車場の確保
- ・ 駐車場や道路から施設入口までのバリアフリー経路の確保
- ・ 施設に応じて障がい者等が利用しやすいエレベーターの設置
- ・ 長万部駅、東西駅前広場、東西自由通路の移動の連続性確保
- ・ 歩道のない道路における路面標示等による安全対策の実施
- ・ 視覚障がい者や聴覚障がい者等に配慮した情報提供設備の設置

基本方針② バリアフリー歩行者ネットワークの形成

- ・ 舗装路面の適切な維持・管理
- ・ 視認性の高い点字ブロックの設置
- ・ 歩道の拡幅、段差の解消など、バリアフリー整備の推進
- ・ 歩道脇の側溝蓋等の安全性の確保

基本方針③ 公共交通による移動の充実

- ・ 地域公共交通計画の策定
- ・ 新たな公共交通の導入

5-2 心のバリアフリーに関する取組

基本方針④ 理解を深めるための啓発・広報活動の推進

- ・高齢者や障がい者等の特性やそれぞれが抱える困難、ニーズに関する情報発信
- ・高齢者や障がい者等に関するマーク、障がい者等専用駐車場の正しい理解の普及・啓発
- ・交通マナーや施設利用マナー等の啓蒙活動、情報発信
- ・バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関する優れた取組の普及・啓発

基本方針⑤ 行動につながる幅広い教育活動の推進

- ・小学校・中学校・高等学校それぞれの段階に応じた「まち歩きバリアフリー点検」の実施
- ・車いすやアイマスクを用いた体験活動等、高齢者や障がい者等の移動の困難さを擬似体験するとともに、サポートの方法等について学ぶ「バリアフリー教室」の開催
- ・高齢者や障がい者等の移動やサポート等を行うボランティア活動の推進

5-3 届出制度

(1) 届出制度の概要

届出制度は、公共交通事業者又は道路管理者が、マスタープランの区域において、旅客施設※や道路※の改良等であって、他の施設と接する部分の構造の変更等を行う場合に、当該行為に着手する30日前までに市町村に届け出なければならず、市町村は届出に係る行為がバリアフリー化を図る上で、支障があると認めるときは行為の変更等の必要な措置を要請できることとした制度です。

※旅客施設は生活関連旅客施設に限られます。また、道路は、生活関連経路である道路法による道路に限られます。

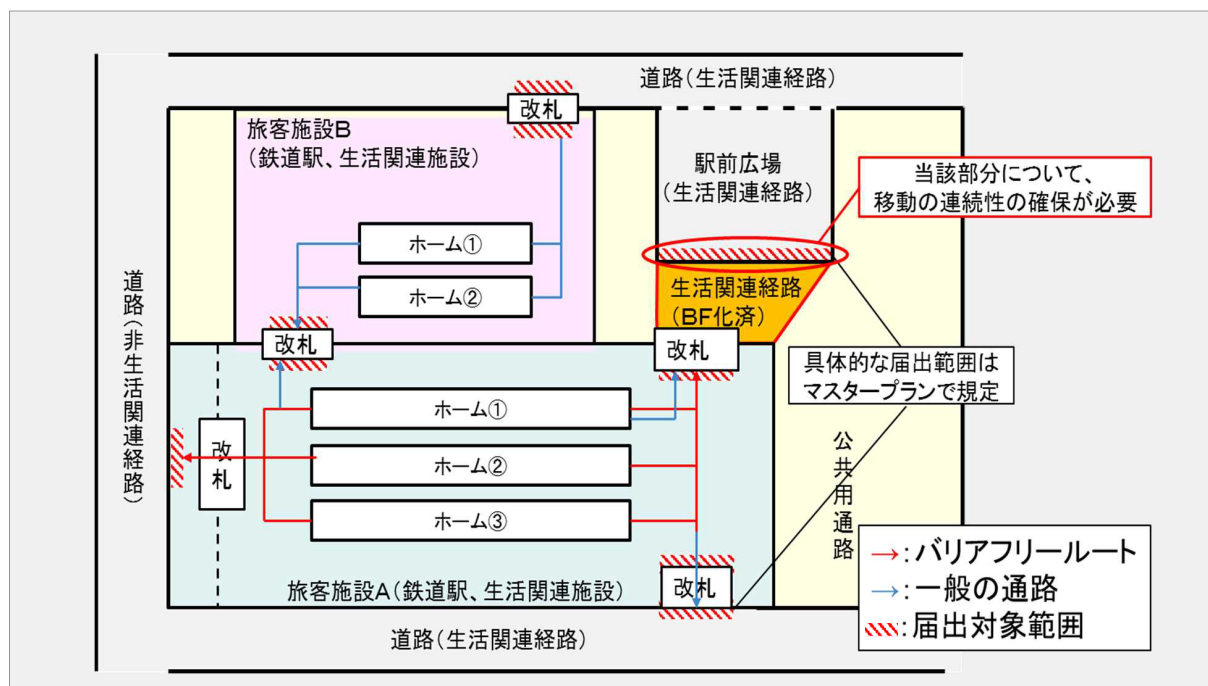
(2) 届出制度の対象の指定

長万部町において届出制度の対象とする旅客施設及び道路は下表の通りです。

図表 届出制度の対象

旅客施設	道 路	届出の範囲
長万部駅	3・4・4 本町通（町道本通線）	駅出入口と駅前広場との連続性の確保

図表 届出対象のイメージ



資料：移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン
（国土交通省、平成31（2019）年3月）

第6章 バリアフリーマスタープランの評価及び見直し

長万部町バリアフリーマスタープランについては、おおむね5年ごとに、移動等円滑化促進地区における移動等円滑化に関する措置の実施の状況についての調査、分析及び評価を行います。

また、マスタープランの作成（Plan）後のバリアフリー化の実施（Do）を受けて、その結果を評価（Check）し、必要に応じて見直す（Action）といったPDCAサイクルによる検証を実施し、現状に則した計画となるように継続的に改善を行っていきます。

さらに、北海道新幹線整備に関連する長万部駅東西の駅前広場やアクセス道路、自由通路整備などについては、計画の進捗に応じて随時見直しを行い、必要に応じてマスタープランを変更し、町の実情にあった継続的な取組としていきます。

また、マスタープランの見直しに止まらず、事業化の目処が立った場合には、基本構想の作成へと移行し、具体的なバリアフリー事業を進めていきます。

参考資料

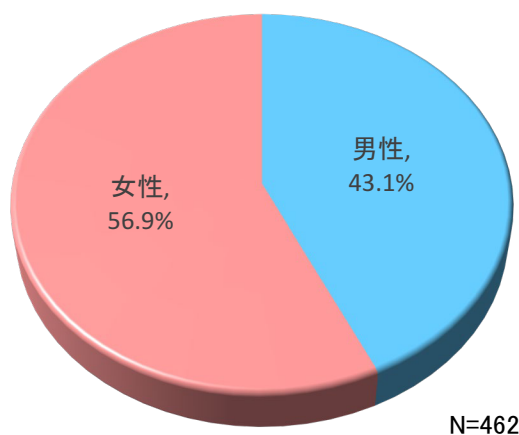
1. 住民意向の把握

(1) 回答者属性

① 性別

性別は、「男性」が43.1%、「女性」が56.9%となった。

図表 性別



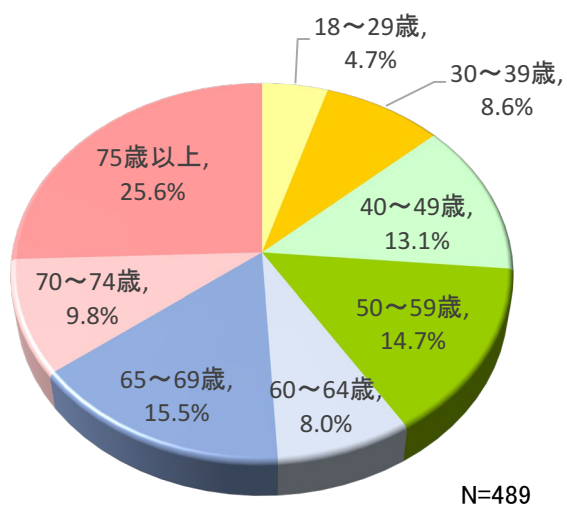
設 問	回答数	割合
男性	199	43.1%
女性	263	56.9%
合計	462	100.0%

② 年齢

年齢は、「75歳以上」が最も多く25.6%となった。次いで、「65～69歳」が15.5%、「50～59歳」が14.7%であった。

65歳以上の割合が50.9%となり、半数を超えている。

図表 年齢

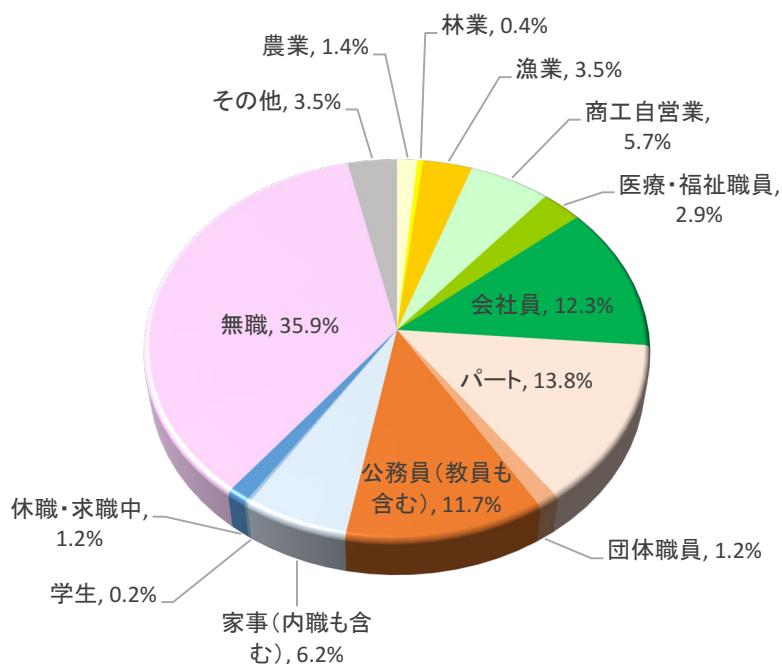


設 問	回答数	割合
18～29歳	23	4.7%
30～39歳	42	8.6%
40～49歳	64	13.1%
50～59歳	72	14.7%
60～64歳	39	8.0%
65～69歳	76	15.5%
70～74歳	48	9.8%
75歳以上	125	25.6%
合計	489	100.0%

③ 職業

職業は、「無職」が35.9%と最も多く、次いで、「パート」が13.8%、「会社員」が12.3%、「公務員（教員も含む）」が11.7%となった。

図表 職業



設 問	回答数	割合
農業	7	1.4%
林業	2	0.4%
漁業	17	3.5%
商工自営業	28	5.7%
医療・福祉職員	14	2.9%
会社員	60	12.3%
パート	67	13.8%
団体職員	6	1.2%
公務員(教員も含む)	57	11.7%
家事(内職も含む)	30	6.2%
学生	1	0.2%
休職・求職中	6	1.2%
無職	175	35.9%
その他	17	3.5%
合計	487	100.0%

【その他の内容】

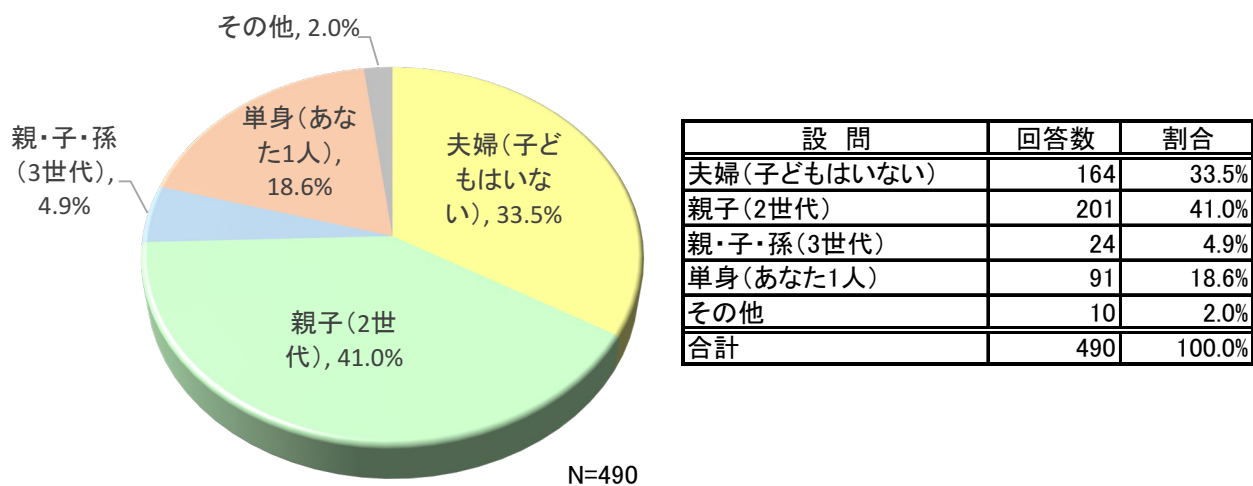
整理番号	その他の内容
14	NPO理事
74	町臨時職員
161	アルバイト
222	契約社員
276	会社役員
286	自営
352	飲食店
458	派遣社員
474	生活保護

※無回答 8票

④ 一緒に住んでいる家族構成

家族構成は、「親子（2世代）」が41.0%と最も多く、次いで、「夫婦（子どもはいない）」が33.5%、「単身（あなた1人）」が18.6%となった。

図表 家族構成



【その他の内容】

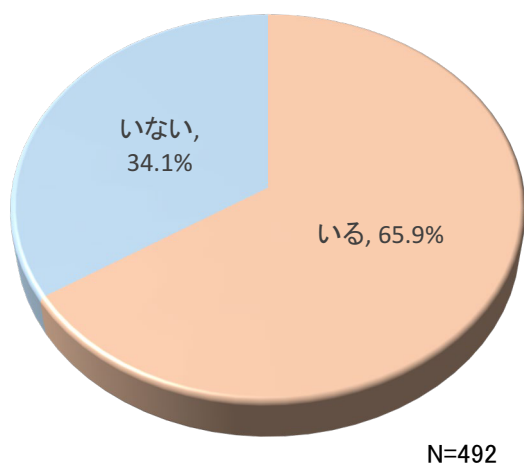
整理番号	その他の内容
141	老人ホームに入所中
157	姉
241	親子、姪
286	家族5人
287	夫婦、兄、両親
484	入院中

※無回答 4票

⑤ 65歳以上の家族の有無（回答者含む）

65歳以上の家族の有無は、「いる」が65.9%と6割を超え、「いない」が34.1%となった。

図表 65歳以上の家族の有無

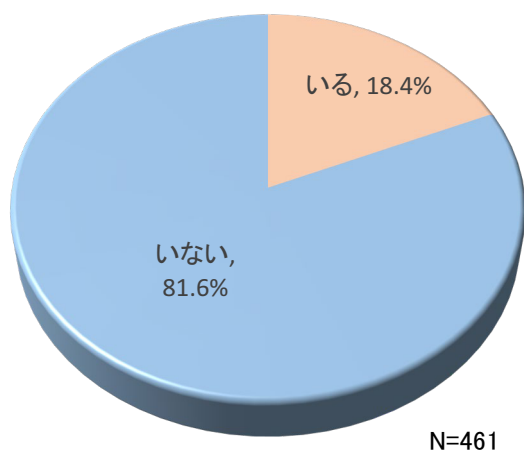


設 問	回答数	割合
いる	324	65.9%
いない	168	34.1%
合計	492	100.0%

⑥ 18歳以下の家族の有無（回答者含む）

18歳以下の家族の有無は、「いない」が81.6%と8割を超え多くなっている。

図表 18歳以下の家族の有無

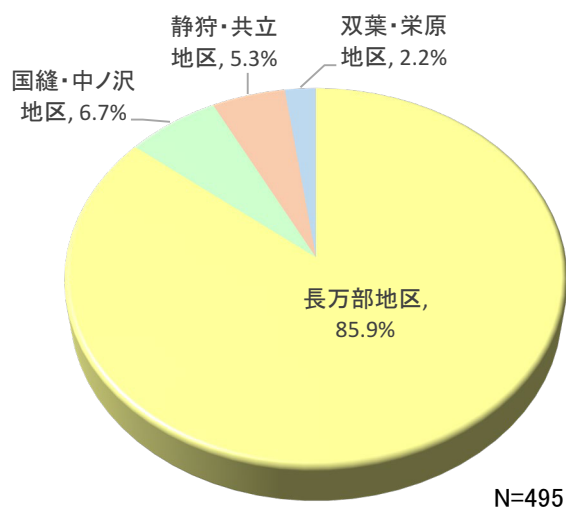


設 問	回答数	割合
いる	85	18.4%
いない	376	81.6%
合計	461	100.0%

⑦ お住いの地区

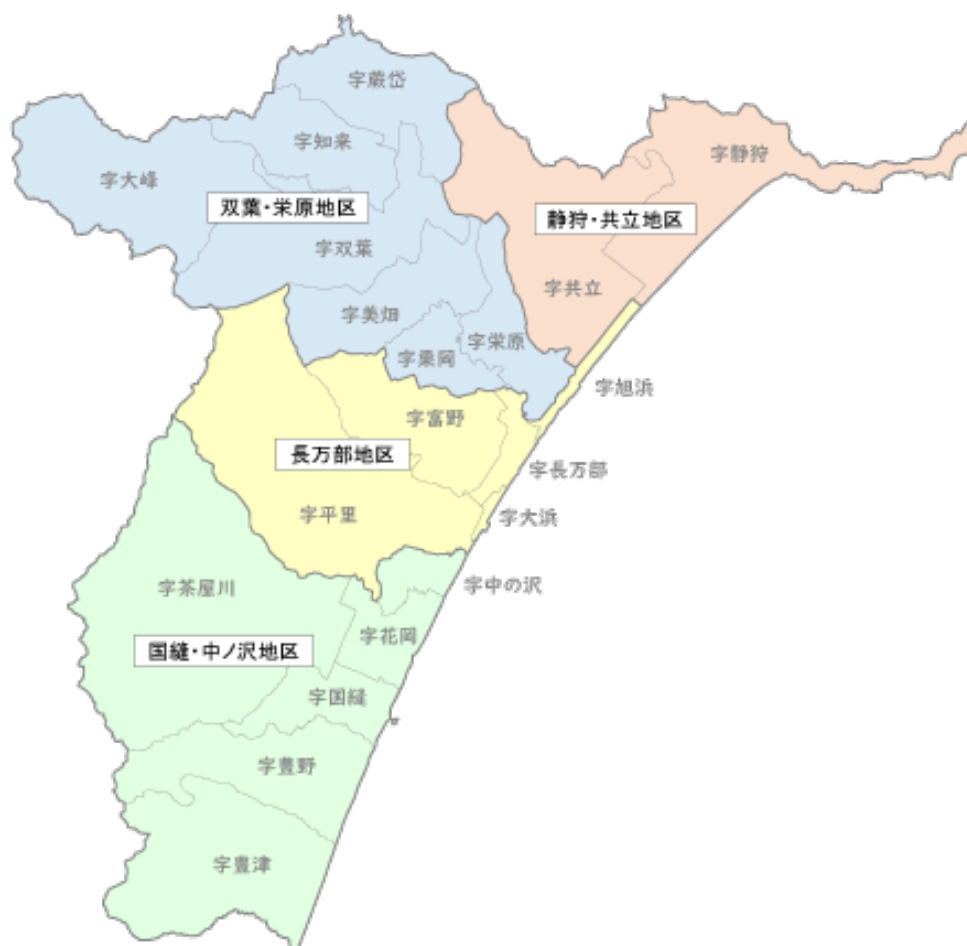
お住まいの地区は、「長万部地区」が85.9%と8割を超え、「国縫・中ノ沢地区」が6.7%、「静狩・共立地区」が5.3%、「双葉・栄原地区」が2.2%となった。

図表 お住いの地区



設 問	回答数	割合
長万部地区	425	85.9%
国縫・中ノ沢地区	33	6.7%
静狩・共立地区	26	5.3%
双葉・栄原地区	11	2.2%
合計	495	100.0%

図表 地区区分図



(2) 長万部町のまちづくりについて

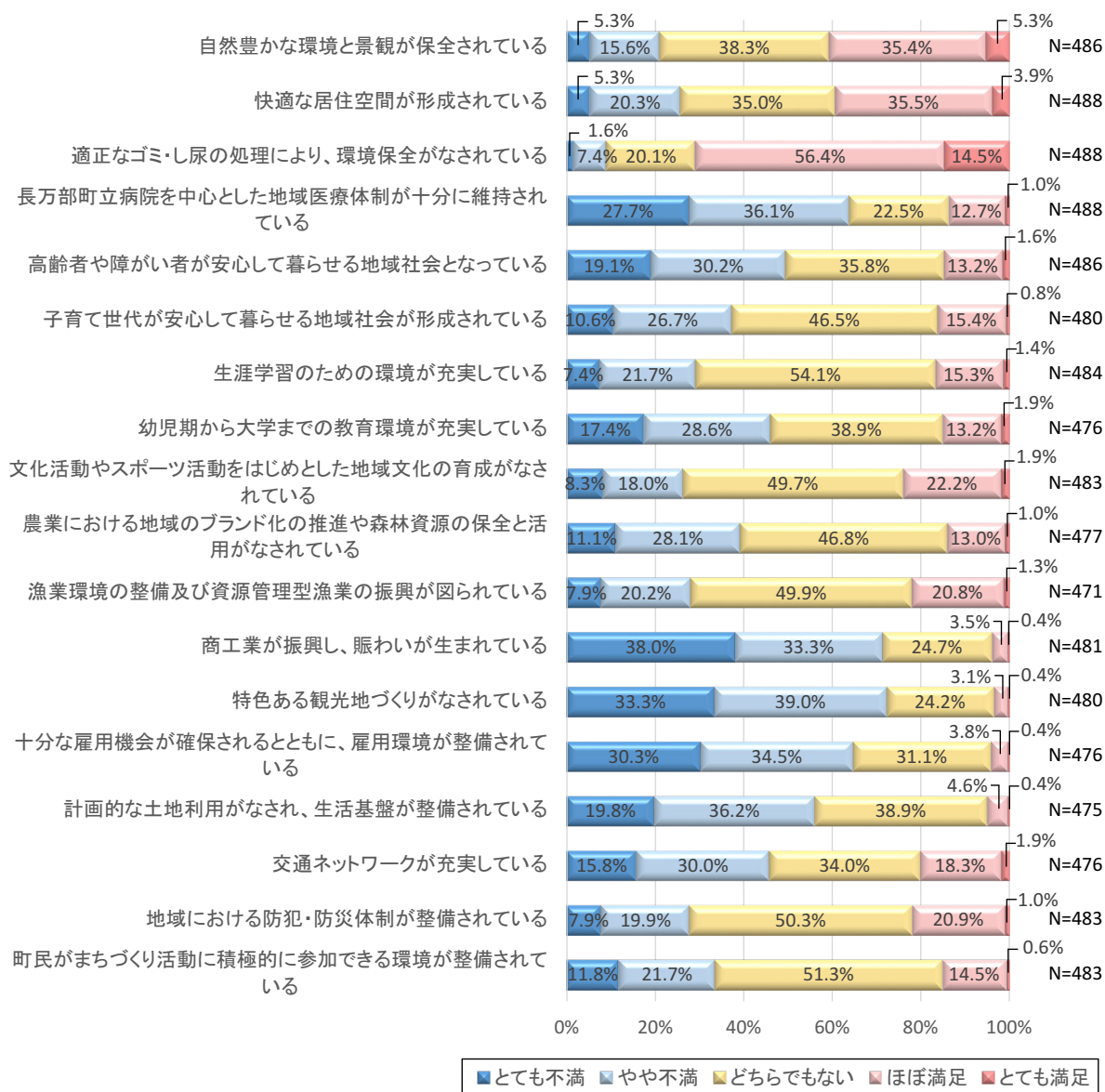
① まちづくりの満足度

まちづくりの満足度は、「満足」と感じているのは「適正なゴミ・し尿の処理により、環境保全がなされている」が70.9%と非常に高い満足度を得ている。

反対に「不満」と感じているのは、「特色ある観光地づくりがなされている」が72.3%と観光地としてのまちづくりに不満を持っている方が多い結果となった。

「高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域社会となっている」については、「不満」と感じているのが49.3%とほぼ半数を占める。

図表 現在のまちづくりへの満足度



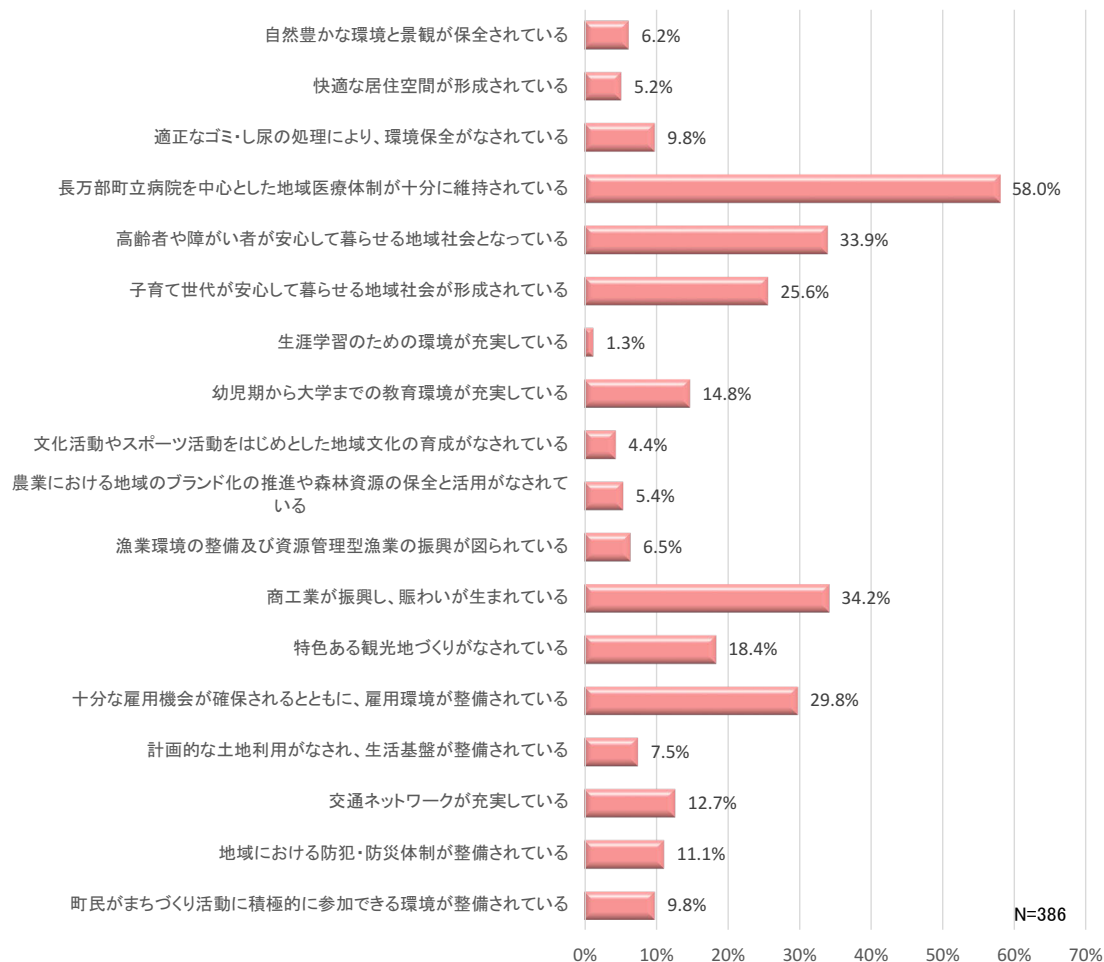
図表 現在のまちづくりへの満足度

設 問	回答数						割合					
	とても不満	やや不満	いどちらでもな	ほぼ満足	とても満足	合計	とても不満	やや不満	いどちらでもな	ほぼ満足	とても満足	合計
自然豊かな環境と景観が保全されている	26	76	186	172	26	486	5.3%	15.6%	38.3%	35.4%	5.3%	100.0%
快適な居住空間が形成されている	26	99	171	173	19	488	5.3%	20.3%	35.0%	35.5%	3.9%	100.0%
適正なゴミ・し尿の処理により、環境保全がなされている	8	36	98	275	71	488	1.6%	7.4%	20.1%	56.4%	14.5%	100.0%
長万部町立病院を中心とした地域医療体制が十分に維持されている	135	176	110	62	5	488	27.7%	36.1%	22.5%	12.7%	1.0%	100.0%
高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域社会となっている	93	147	174	64	8	486	19.1%	30.2%	35.8%	13.2%	1.6%	100.0%
子育て世代が安心して暮らせる地域社会が形成されている	51	128	223	74	4	480	10.6%	26.7%	46.5%	15.4%	0.8%	100.0%
生涯学習のための環境が充実している	36	105	262	74	7	484	7.4%	21.7%	54.1%	15.3%	1.4%	100.0%
幼児期から大学までの教育環境が充実している	83	136	185	63	9	476	17.4%	28.6%	38.9%	13.2%	1.9%	100.0%
文化活動やスポーツ活動をはじめとした地域文化の育成がなされている	40	87	240	107	9	483	8.3%	18.0%	49.7%	22.2%	1.9%	100.0%
農業における地域のブランド化の推進や森林資源の保全と活用がなされている	53	134	223	62	5	477	11.1%	28.1%	46.8%	13.0%	1.0%	100.0%
漁業環境の整備及び資源管理型漁業の振興が図られている	37	95	235	98	6	471	7.9%	20.2%	49.9%	20.8%	1.3%	100.0%
商工業が振興し、賑わいが生まれている	183	160	119	17	2	481	38.0%	33.3%	24.7%	3.5%	0.4%	100.0%
特色ある観光地づくりがなされている	160	187	116	15	2	480	33.3%	39.0%	24.2%	3.1%	0.4%	100.0%
十分な雇用機会が確保されるとともに、雇用環境が整備されている	144	164	148	18	2	476	30.3%	34.5%	31.1%	3.8%	0.4%	100.0%
計画的な土地利用がなされ、生活基盤が整備されている	94	172	185	22	2	475	19.8%	36.2%	38.9%	4.6%	0.4%	100.0%
交通ネットワークが充実している	75	143	162	87	9	476	15.8%	30.0%	34.0%	18.3%	1.9%	100.0%
地域における防犯・防災体制が整備されている	38	96	243	101	5	483	7.9%	19.9%	50.3%	20.9%	1.0%	100.0%
町民がまちづくり活動に積極的に参加できる環境が整備されている	57	105	248	70	3	483	11.8%	21.7%	51.3%	14.5%	0.6%	100.0%

② まちづくりで重要だと思う項目

まちづくりで重要だと思う項目は、「長万部町立病院を中心とした地域医療体制が十分に維持されている」が58.0%、次いで「商工業が振興し、賑わいが生まれている」が34.2%となっており、「高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域社会となっている」は3番目に高い33.9%となった。

図表 まちづくりで重要だと思う項目



図表 まちづくりで重要だと思う項目

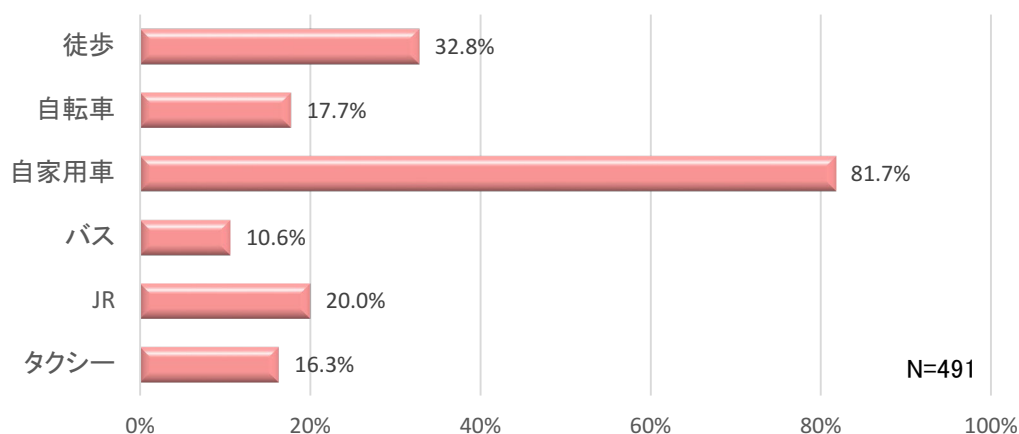
設 問	回答数	割合
自然豊かな環境と景観が保全されている	24	6.2%
快適な居住空間が形成されている	20	5.2%
適正なゴミ・し尿の処理により、環境保全がなされている	38	9.8%
長万部町立病院を中心とした地域医療体制が十分に維持されている	224	58.0%
高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域社会となっている	131	33.9%
子育て世代が安心して暮らせる地域社会が形成されている	99	25.6%
生涯学習のための環境が充実している	5	1.3%
幼児期から大学までの教育環境が充実している	57	14.8%
文化活動やスポーツ活動をはじめとした地域文化の育成がなされている	17	4.4%
農業における地域のブランド化の推進や森林資源の保全と活用がなされている	21	5.4%
漁業環境の整備及び資源管理型漁業の振興が図られている	25	6.5%
商工業が振興し、賑わいが生まれている	132	34.2%
特色ある観光地づくりがなされている	71	18.4%
十分な雇用機会が確保されるとともに、雇用環境が整備されている	115	29.8%
計画的な土地利用がなされ、生活基盤が整備されている	29	7.5%
交通ネットワークが充実している	49	12.7%
地域における防犯・防災体制が整備されている	43	11.1%
町民がまちづくり活動に積極的に参加できる環境が整備されている	38	9.8%

(3) バリアフリーについて

① 外出の際に利用する交通手段

ふだん外出の際に利用する交通手段は、「自家用車」が81.7%と8割を超えた。「徒歩」が32.8%、「JR」が20.0%、「自転車」が17.7%となった。

図表 外出の際に利用する交通手段



設 問	回答数	割合
徒歩	161	32.8%
自転車	87	17.7%
自家用車	401	81.7%
バス	52	10.6%
JR	98	20.0%
タクシー	80	16.3%

【年齢別クロス】

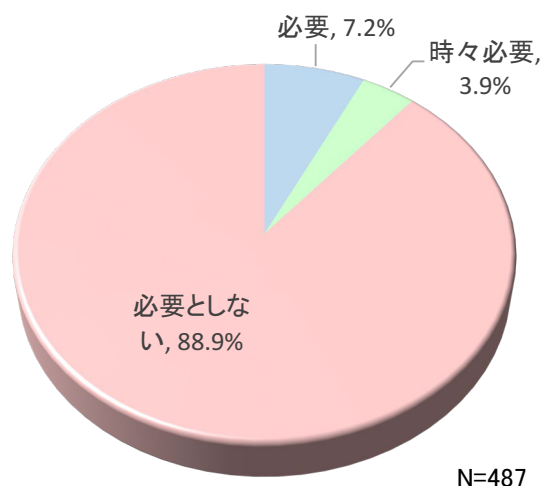
年齢別のふだん外出の際に利用する交通手段は、どの年齢層も自家用車が最も多いが、75歳以上になるとその割合は低下し、タクシーやバスの割合が増加している。

設 問	回答数						割合					
	徒歩	自転車	自家用車	バス	JR	タクシー	徒歩	自転車	自家用車	バス	JR	タクシー
18～29歳	10	6	21	2	4	0	43.5%	26.1%	91.3%	8.7%	17.4%	0.0%
30～39歳	12	4	40	0	5	2	28.6%	9.5%	95.2%	0.0%	11.9%	4.8%
40～49歳	18	13	62	2	13	6	28.1%	20.3%	96.9%	3.1%	20.3%	9.4%
50～59歳	31	16	62	3	16	4	43.7%	22.5%	87.3%	4.2%	22.5%	5.6%
60～64歳	10	6	31	5	8	3	25.6%	15.4%	79.5%	12.8%	20.5%	7.7%
65～69歳	16	13	65	11	16	7	21.9%	17.8%	89.0%	15.1%	21.9%	9.6%
70～74歳	18	5	42	4	10	3	37.5%	10.4%	87.5%	8.3%	20.8%	6.3%
75歳以上	44	23	71	24	24	51	36.7%	19.2%	59.2%	20.0%	20.0%	42.5%

② 外出の際の用具の必要性

外出する際の用具の必要性は、「必要としない」が88.9%と最も多く、「必要」が7.2%、「時々必要」が3.9%となった。

図表 外出の際の用具の必要性



設 問	回答数	割合
必要	35	7.2%
時々必要	19	3.9%
必要としない	433	88.9%
合計	487	100.0%

【年齢別クロス】

年齢別の外出する際の用具の必要性は、74歳以下ではどの年齢層も9割以上が「必要としない」となった。「75歳以上」では、「必要としない」が63.9%、「必要」が24.4%、「時々必要」が11.8%となった。

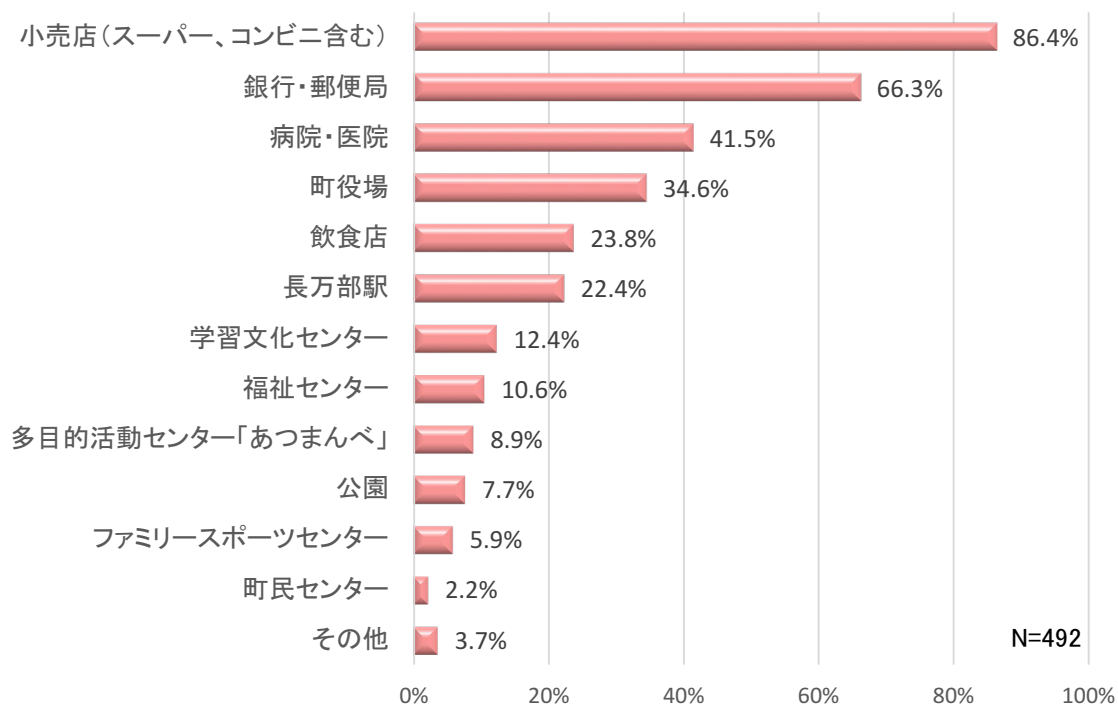
図表 年齢別外出の際の用具の必要性

設 問	回答数				割合			
	必要	時々必要	必要としない	合計	必要	時々必要	必要としない	合計
18～29歳	0	1	22	23	0.0%	4.3%	95.7%	100.0%
30～39歳	0	0	42	42	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
40～49歳	0	0	63	63	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
50～59歳	0	0	71	71	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
60～64歳	1	0	38	39	2.6%	0.0%	97.4%	100.0%
65～69歳	1	4	68	73	1.4%	5.5%	93.2%	100.0%
70～74歳	2	0	45	47	4.3%	0.0%	95.7%	100.0%
75歳以上	29	14	76	119	24.4%	11.8%	63.9%	100.0%
合計	33	19	425	477	6.9%	4.0%	89.1%	100.0%

③ 外出の際よく行く場所

外出する際に、よく行く場所は、「小売店（スーパー、コンビニ含む）」が86.4%と最も多く、次いで、「銀行・郵便局」が66.3%、「病院・医院」が41.5%となった。

図表 ふだん外出する際によく行く場所



設 問	回答数	割合
小売店(スーパー、コンビニ含む)	425	86.4%
銀行・郵便局	326	66.3%
病院・医院	204	41.5%
町役場	170	34.6%
飲食店	117	23.8%
長万部駅	110	22.4%
学習文化センター	61	12.4%
福祉センター	52	10.6%
多目的活動センター「あつまんべ」	44	8.9%
公園	38	7.7%
ファミリースポーツセンター	29	5.9%
町民センター	11	2.2%
その他	18	3.7%

【その他の内容】

整理 番号	その他の内容
13	温泉
33	海
115	町外の公共温泉施設
133	必要があれば⑩以外は全部行く。問の意味不明。
140	すべて八雲町
167	静狩駅
172	振興会館
195	スーパーマーケット、コンビニ
253	ガソリンスタンド
265	八雲・伊達
266	ガソリンスタンド
284	温泉
359	老人福祉センター入浴

※無回答 5票

【年齢別クロス】

年齢別の外出する際に、よく行く場所としては、「小売店（スーパー、コンビニ含む）」が全ての年齢層で最も多く、64歳以下は全て9割以上となっている。また、60歳以上は「銀行・郵便局」の割合も多く7～8割となっている。「病院・医院」は年齢が高くなるにつれ増加する傾向にあり、「75歳以上」は76.2%となっている。

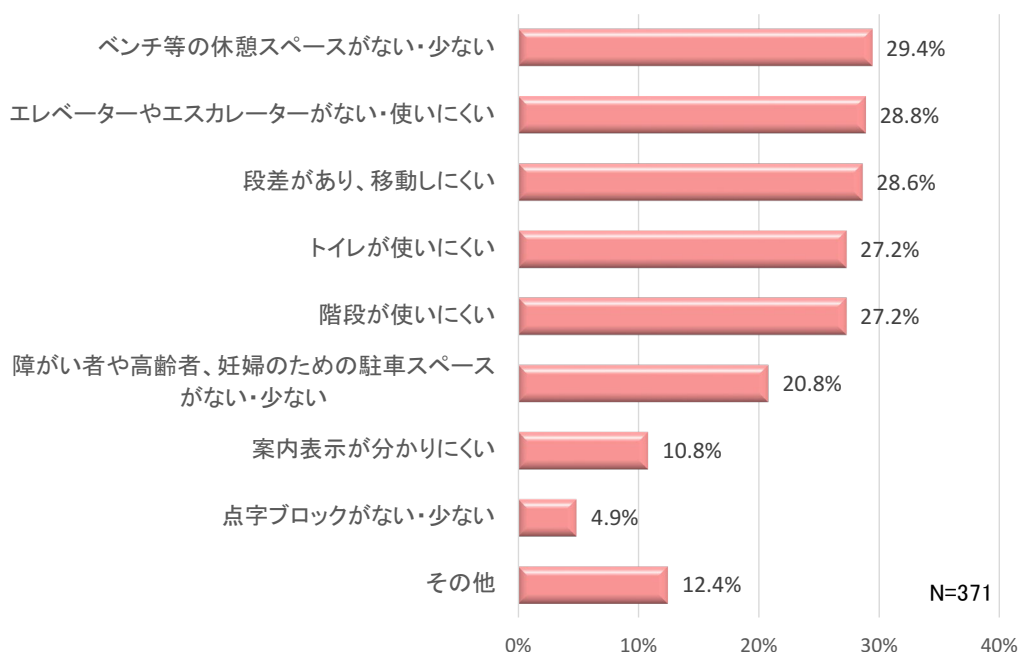
設 問	回答数												
	長万部 駅	町役場	学習文 化セン ター	町民セン ター	福祉セン ター	ファミ リース ポーツセ ンター	多目的 活動セン ター「あ つまん べ」	銀行・郵 便局	病院・医 院	公園	小売店 (スー パー、コ ンビニ含 む)	飲食店	その他
18～29歳	3	7	1	0	0	5	1	10	2	3	21	5	0
30～39歳	6	6	8	1	2	6	5	25	7	7	41	19	1
40～49歳	11	15	12	2	6	9	11	35	7	11	57	22	4
50～59歳	17	17	7	0	2	2	3	44	16	3	67	20	2
60～64歳	7	14	5	0	2	0	0	30	18	0	36	8	3
65～69歳	21	34	8	0	5	0	4	57	32	3	63	14	2
70～74歳	10	23	6	0	7	1	7	34	25	3	38	12	0
75歳以上	33	52	13	7	27	5	13	85	93	7	94	15	5

設 問	割合												
	長万部 駅	町役場	学習文 化セン ター	町民セン ター	福祉セン ター	ファミ リース ポーツセ ンター	多目的 活動セン ター「あ つまん べ」	銀行・郵 便局	病院・医 院	公園	小売店 (スー パー、コ ンビニ含 む)	飲食店	その他
18～29歳	13.0%	30.4%	4.3%	0.0%	0.0%	21.7%	4.3%	43.5%	8.7%	13.0%	91.3%	21.7%	0.0%
30～39歳	14.3%	14.3%	19.0%	2.4%	4.8%	14.3%	11.9%	59.5%	16.7%	16.7%	97.6%	45.2%	2.4%
40～49歳	17.5%	23.8%	19.0%	3.2%	9.5%	14.3%	17.5%	55.6%	11.1%	17.5%	90.5%	34.9%	6.3%
50～59歳	23.9%	23.9%	9.9%	0.0%	2.8%	2.8%	4.2%	62.0%	22.5%	4.2%	94.4%	28.2%	2.8%
60～64歳	17.9%	35.9%	12.8%	0.0%	5.1%	0.0%	0.0%	76.9%	46.2%	0.0%	92.3%	20.5%	7.7%
65～69歳	28.8%	46.6%	11.0%	0.0%	6.8%	0.0%	5.5%	78.1%	43.8%	4.1%	86.3%	19.2%	2.7%
70～74歳	20.8%	47.9%	12.5%	0.0%	14.6%	2.1%	14.6%	70.8%	52.1%	6.3%	79.2%	25.0%	0.0%
75歳以上	27.0%	42.6%	10.7%	5.7%	22.1%	4.1%	10.7%	69.7%	76.2%	5.7%	77.0%	12.3%	4.1%

④ よく利用する施設の問題点

よく利用する施設の問題点は、「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない」が29.4%、次いで、「エレベーターやエスカレーターがない・使いにくい」が28.8%、「段差があり、移動しにくい」が28.6%、「トイレが使いにくい」「階段が使いにくい」が同率の27.2%となった。これらの項目は、割合が僅差になっており、どれも問題点としての意識が高くなっている。

図表 よく利用する施設の問題点



設 問	回答数	割合
ベンチ等の休憩スペースがない・少ない	109	29.4%
エレベーターやエスカレーターがない・使いにくい	107	28.8%
段差があり、移動しにくい	106	28.6%
トイレが使いにくい	101	27.2%
階段が使いにくい	101	27.2%
障がい者や高齢者、妊婦のための駐車スペースがない・少ない	77	20.8%
案内表示が分かりにくい	40	10.8%
点字ブロックがない・少ない	18	4.9%
その他	46	12.4%

【その他の内容】

整理 番号	その他の内容
13	長万部の駅が階段が大変です
24	ない
33	公園に砂場があるとよいと思う。
49	高い
51	駅が寒く、カフェもない
54	Wi-Fiがない
57	特に考えてことがない。気にならない。
68	なし
71	トイレが小さい、狭いです。
86	なし
111	図書館、蔵書数少ない
117	店が少ない
131	コピー機を使いたい
133	なし
134	距離
193	なし
201	なし
217	利用施設がないためわからない
241	特になし
271	特になし
293	通路が狭い
301	特にないです
305	歩道が波になっていて歩きにくい
317	どこも遠くて大変
320	階段すべて同じ色だと段差が分からず踏み外す時がある
362	道路の舗装が不十分な所があり、ベビーカーが引っかかる
364	問題なし
392	なし
409	駅の階段が急勾配、老朽化、部分的な補修をやめてほしい
418	長万部駅の階段が大変
437	規模が小さい
449	ラルズは品物が少ないのに高い。店員の質も最悪です。
495	おむつを替える場所がない

※無回答 13票

【年齢別クロス】

年齢別のよく利用する施設の問題点は、「18～29歳」では「トイレが使いにくい」が47.1%、「障がい者や高齢者、妊婦のための駐車スペースがない・少ない」が41.2%となった。「75歳以上」になると、「段差があり、移動しにくい」が60.3%と6割を超え、「階段が使いにくい」「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない」が同率の46.2%となった。

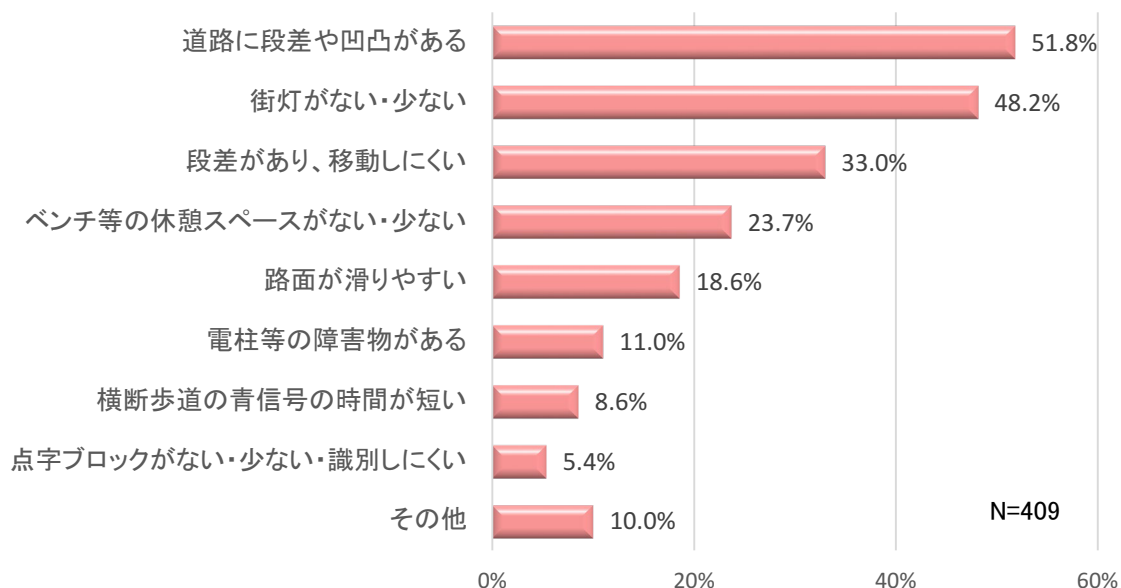
設 問	回答数								
	段差があり、移動しにくい	エレベーターやエスカレーターがない・使いにくい	階段が使いにくい	トイレが使いにくい	案内表示が分かりにくい	点字ブロックがない・少ない	障がい者や高齢者、妊婦のための駐車スペースがない・少ない	ベンチ等の休憩スペースがない・少ない	その他
18～29歳	0	2	1	8	3	2	7	5	3
30～39歳	6	7	6	9	1	2	5	6	5
40～49歳	9	6	10	8	4	1	4	8	18
50～59歳	10	18	13	23	3	5	14	16	1
60～64歳	7	8	7	7	1	0	4	11	3
65～69歳	17	18	18	9	8	3	16	12	1
70～74歳	10	13	8	12	6	1	2	11	2
75歳以上	47	34	36	24	12	4	25	36	12

設 問	割合								
	段差があり、移動しにくい	エレベーターやエスカレーターがない・使いにくい	階段が使いにくい	トイレが使いにくい	案内表示が分かりにくい	点字ブロックがない・少ない	障がい者や高齢者、妊婦のための駐車スペースがない・少ない	ベンチ等の休憩スペースがない・少ない	その他
18～29歳	0.0%	11.8%	5.9%	47.1%	17.6%	11.8%	41.2%	29.4%	17.6%
30～39歳	19.4%	22.6%	19.4%	29.0%	3.2%	6.5%	16.1%	19.4%	16.1%
40～49歳	20.9%	14.0%	23.3%	18.6%	9.3%	2.3%	9.3%	18.6%	41.9%
50～59歳	18.9%	34.0%	24.5%	43.4%	5.7%	9.4%	26.4%	30.2%	1.9%
60～64歳	29.2%	33.3%	29.2%	29.2%	4.2%	0.0%	16.7%	45.8%	12.5%
65～69歳	29.8%	31.6%	31.6%	15.8%	14.0%	5.3%	28.1%	21.1%	1.8%
70～74歳	26.3%	34.2%	21.1%	31.6%	15.8%	2.6%	5.3%	28.9%	5.3%
75歳以上	60.3%	43.6%	46.2%	30.8%	15.4%	5.1%	32.1%	46.2%	15.4%

⑤ 徒歩や自転車で移動する際の問題点

徒歩や自転車で移動する際の問題点は、「道路に段差や凹凸がある」が51.8%、次いで、「街灯がない・少ない」が48.2%、「段差があり、移動しにくい」が33.0%となった。

図表 徒歩や自転車で移動する際の問題点



設 問	回答数	割合
道路に段差や凹凸がある	212	51.8%
街灯がない・少ない	197	48.2%
段差があり、移動しにくい	135	33.0%
ベンチ等の休憩スペースがない・少ない	97	23.7%
路面が滑りやすい	76	18.6%
電柱等の障害物がある	45	11.0%
横断歩道の青信号の時間が短い	35	8.6%
点字ブロックがない・少ない・識別しにくい	22	5.4%
その他	41	10.0%

【その他の内容】

整理 番号	その他の内容
13	冬になるとトイレがなくなる
19	歩道が斜めのところ
24	ない
33	歩道の道幅が狭い。
39	歩道、自転車用の道路が狭い
49	歩道が狭い
51	歩道が狭いところがある
67	歩道がなく信号が遠いため、国道を移動するのが怖い
93	町が2分され不便
108	なし
111	なし
113	冬、除雪車の後、路面が滑りやすい
133	条丁目の標識がない
134	距離
192	温泉街の線路陸橋が古くて危ない
208	線路による分断
222	ふれあい大橋の自転車の通交が危険
231	夕方は出ていかないから
234	歩道が狭く危険な所がたまにある
241	特になし
301	特にないです
304	町墓所付近から公園までの道路、街灯が少し暗い
339	ふれあい大橋の階段の老朽化
362	道路の舗装が不十分な所があり、ベビーカーが引っかかる
364	問題なし
374	なし
379	ブロック塀や倒壊しそうな家屋
381	線路横断しにくい
392	なし
409	駐輪スペースが少ない
415	自転車で跨線橋がづらいです
449	狭い、歩道がないところがある
457	自然が多すぎて歩く気になれない。動物などが出てきそう。雑草が多い。歩道がないので車が通るたび怖い。
459	メインストリートの車幅が狭すぎる

※無回答 7票

【年齢別クロス】

年齢別の徒歩や自転車で移動する際の問題点は、49歳以下の年齢層では、「街灯がない・少ない」が6割を超えて多くなっている。50歳以上では、「道路に段差や凹凸がある」の割合が高く、70歳以上になると「段差があり、移動しにくい」が4割以上となった。

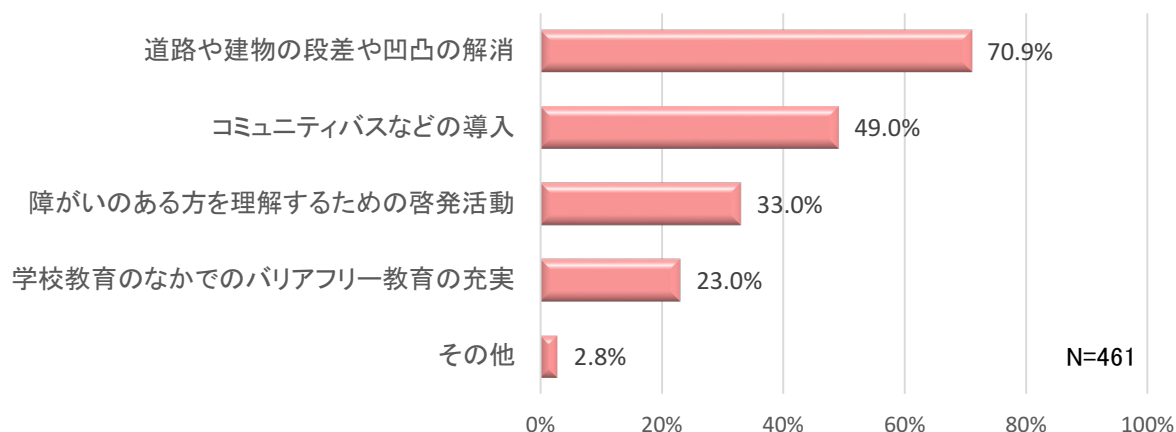
設 問	回答数								
	段差があり、移動しにくい	道路に段差や凹凸がある	路面が滑りやすい	電柱等の障害物がある	点字ブロックがない・少ない・識別しにくい	街灯がない・少ない	横断歩道の青信号の時間が短い	ベンチ等の休憩スペースがない・少ない	その他
18～29歳	0	7	6	0	0	15	2	1	2
30～39歳	5	8	3	0	1	22	0	4	10
40～49歳	14	30	4	6	3	34	3	8	9
50～59歳	22	36	12	8	5	33	2	4	4
60～64歳	10	21	5	8	0	19	2	8	2
65～69歳	23	38	14	9	4	29	5	16	2
70～74歳	15	19	8	2	0	10	4	13	2
75歳以上	45	51	24	12	8	31	16	40	10

設 問	割合								
	段差があり、移動しにくい	道路に段差や凹凸がある	路面が滑りやすい	電柱等の障害物がある	点字ブロックがない・少ない・識別しにくい	街灯がない・少ない	横断歩道の青信号の時間が短い	ベンチ等の休憩スペースがない・少ない	その他
18～29歳	0.0%	33.3%	28.6%	0.0%	0.0%	71.4%	9.5%	4.8%	9.5%
30～39歳	14.3%	22.9%	8.6%	0.0%	2.9%	62.9%	0.0%	11.4%	28.6%
40～49歳	25.5%	54.5%	7.3%	10.9%	5.5%	61.8%	5.5%	14.5%	16.4%
50～59歳	37.3%	61.0%	20.3%	13.6%	8.5%	55.9%	3.4%	6.8%	6.8%
60～64歳	32.3%	67.7%	16.1%	25.8%	0.0%	61.3%	6.5%	25.8%	6.5%
65～69歳	37.1%	61.3%	22.6%	14.5%	6.5%	46.8%	8.1%	25.8%	3.2%
70～74歳	42.9%	54.3%	22.9%	5.7%	0.0%	28.6%	11.4%	37.1%	5.7%
75歳以上	43.7%	49.5%	23.3%	11.7%	7.8%	30.1%	15.5%	38.8%	9.7%

⑥ 今後のバリアフリー化に重要と考えること

今後のバリアフリー化に重要と考えることは、「道路や建物の段差や凹凸の解消」が70.9%、次いで、「コミュニティバスなどの導入」が49.0%、「障がいのある方を理解するための啓発活動」が33.0%となった。

図表 今後のバリアフリー化に重要と考えること



設 問	回答数	割合
道路や建物の段差や凹凸の解消	327	70.9%
コミュニティバスなどの導入	226	49.0%
障がいのある方を理解するための啓発活動	152	33.0%
学校教育のなかでのバリアフリー教育の充実	106	23.0%
その他	13	2.8%

【その他の内容】

整理 番号	その他の内容
49	冬でも自転車に乗る高齢者が多くて危険すぎる。町として高齢者への啓発をすべき。
53	ノーマライゼーションの理念に基づくユニバーサルデザイン
67	手すりの設置、道にベンチを設置、実際に障がいや足に不自由さのある人と一緒に町内モニターツアー。
71	なるべく段差を少なくしてほしい
115	必要としている人からの声を集めるところから
136	自分はあまり出て歩かないので、不便さは感じません
193	バリアフリー化も大切だが、そうでないところでも活動できるような人材の育成、確保。
449	障がい者の偏見をなくす。一人一人の問題でもある。

※無回答 5票

【年齢別クロス】

年齢別の今後のバリアフリー化に重要と考えることは、「18～29歳」では、「学校教育のなかでのバリアフリー教育の充実」が47.8%となり、学びや理解を深めることが重要となった。それ以外の年齢では、「道路や建物の段差や凹凸の解消」が半数以上となり、現状の改善、復旧が重要となった。

設 問	回答数					割合				
	道路や建物の段差や凹凸の解消	コミュニティバスなどの導入	障がいのある方を理解するための啓発活動	学校教育のなかでのバリアフリー教育の充実	その他	道路や建物の段差や凹凸の解消	コミュニティバスなどの導入	障がいのある方を理解するための啓発活動	学校教育のなかでのバリアフリー教育の充実	その他
18～29歳	10	8	8	11	0	43.5%	34.8%	34.8%	47.8%	0.0%
30～39歳	21	18	15	18	2	52.5%	45.0%	37.5%	45.0%	5.0%
40～49歳	44	23	20	18	5	72.1%	37.7%	32.8%	29.5%	8.2%
50～59歳	53	29	22	14	1	76.8%	42.0%	31.9%	20.3%	1.4%
60～64歳	30	23	17	10	2	76.9%	59.0%	43.6%	25.6%	5.1%
65～69歳	59	41	23	10	0	84.3%	58.6%	32.9%	14.3%	0.0%
70～74歳	32	21	10	7	0	74.4%	48.8%	23.3%	16.3%	0.0%
75歳以上	76	58	35	15	2	70.4%	53.7%	32.4%	13.9%	1.9%

2. 令和元(2019)年度 まち歩き点検の実施

(1) まち歩き点検の目的

駅や公共施設、スーパー等の多くの町民が利用する施設やその施設へ至る道路などで、移動の障壁（バリア）となっている場所はどこなのか、「長万部まちづくり推進会議」の委員及び構成員（※76ページ参照）が実際にまちを歩いて点検します。

(2) まち歩き点検の視点

【道路（移動経路）】

- ・ 歩道の幅（車いす同士がすれ違うためには2.0m以上必要）
- ・ 電柱や看板などの障がい物の有無
- ・ 案内表示の状況
- ・ 舗装の状況（凸凹、ヒビなど）
- ・ 交差点等での車道との境界の段差、勾配、点字ブロック

【出入口】

- ・ 主要な施設と道路とのつながり（段差、出入口の状況等）

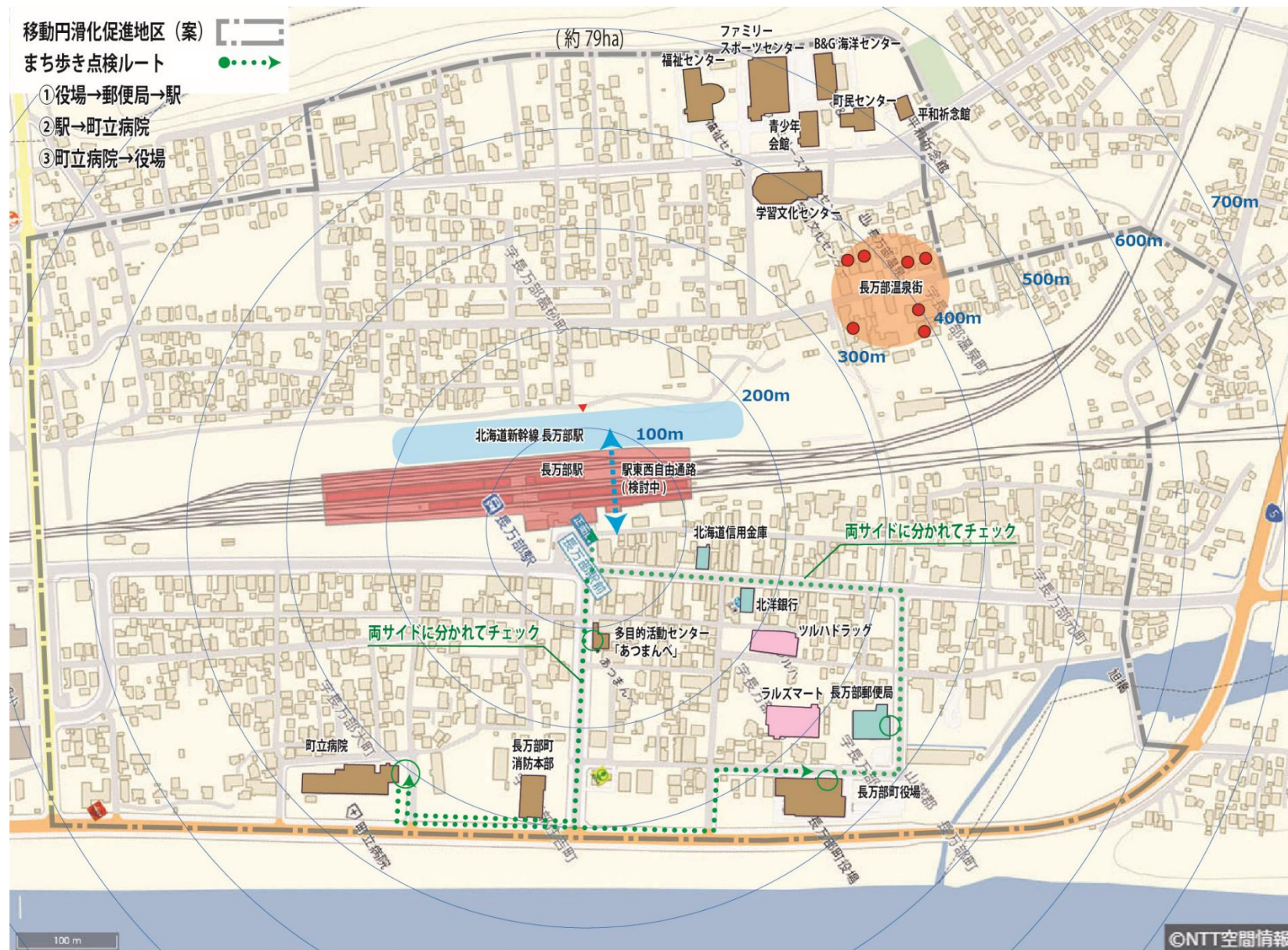
【体験する】

- ・ 車いすに実際に乗って体験する
- ・ 車いすを押して歩くことを体験する
- ・ ベビーカーを押して歩くことを体験する
→スロープの勾配、道路の段差や舗装面の凸凹を実感する
- ・ 長万部駅において階段を昇降するための装置を見学・体験する

(3) まち歩き点検ルート

- ① 役場～郵便局～長万部駅（約600m、15分程度）
本町通は二手に分かれて両側の歩道をチェック
- ② 長万部駅～町立病院（約500m、15分程度）
駅前通は二手に分かれて両側の歩道をチェック
- ③ 町立病院～役場（約500m、10分程度）

まち歩き点検ルート図



(4) 当日のプログラム

開催日：令和2（2020）年3月16日月曜日

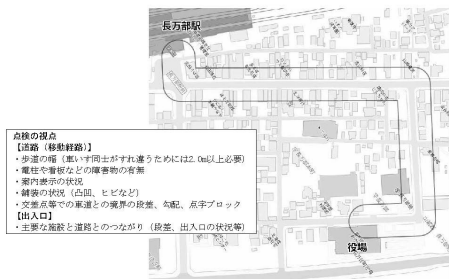
- 13：00 役場集合・本日の流れを説明
- 13：05 役場出発～郵便局（出入口チェック）～駅
本町通は二手に分かれて両側の歩道をチェック。
- 13：20 長万部駅出発～町立病院（出入口チェック）
駅前通は二手に分かれて両側の歩道をチェック。
- 13：35 町立病院出発～役場
- 13：45 役場

（休憩5分）

- 13：50 役場にてチェックシート記入
- 14：00 終了

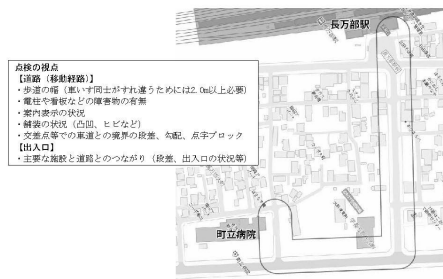
(5) まち歩き点検チェックシート

まち歩きチェックシート 役場～長万部駅

[illegible]

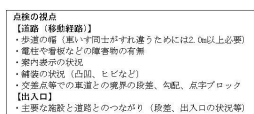
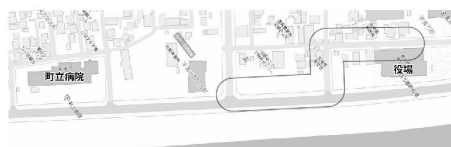
- 1 -

まち歩きチェックシート 長万部駅～町立病院

[illegible]

- 2 -

まち歩きチェックシート 町立病院～役場

[illegible]

- 3 -

まち歩きチェックシート その他感想など

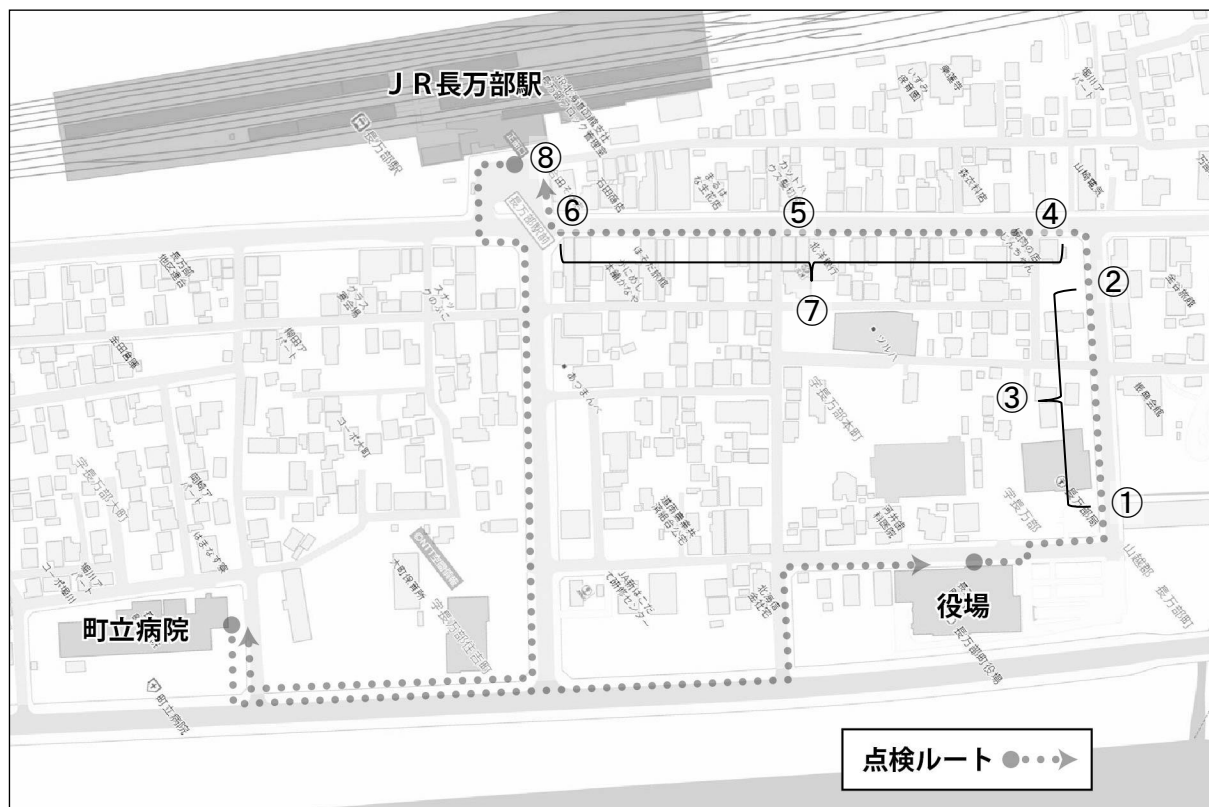
[illegible]

- 4 -

(6) 実施結果

① 役場～J R長万部駅

チェックポイント



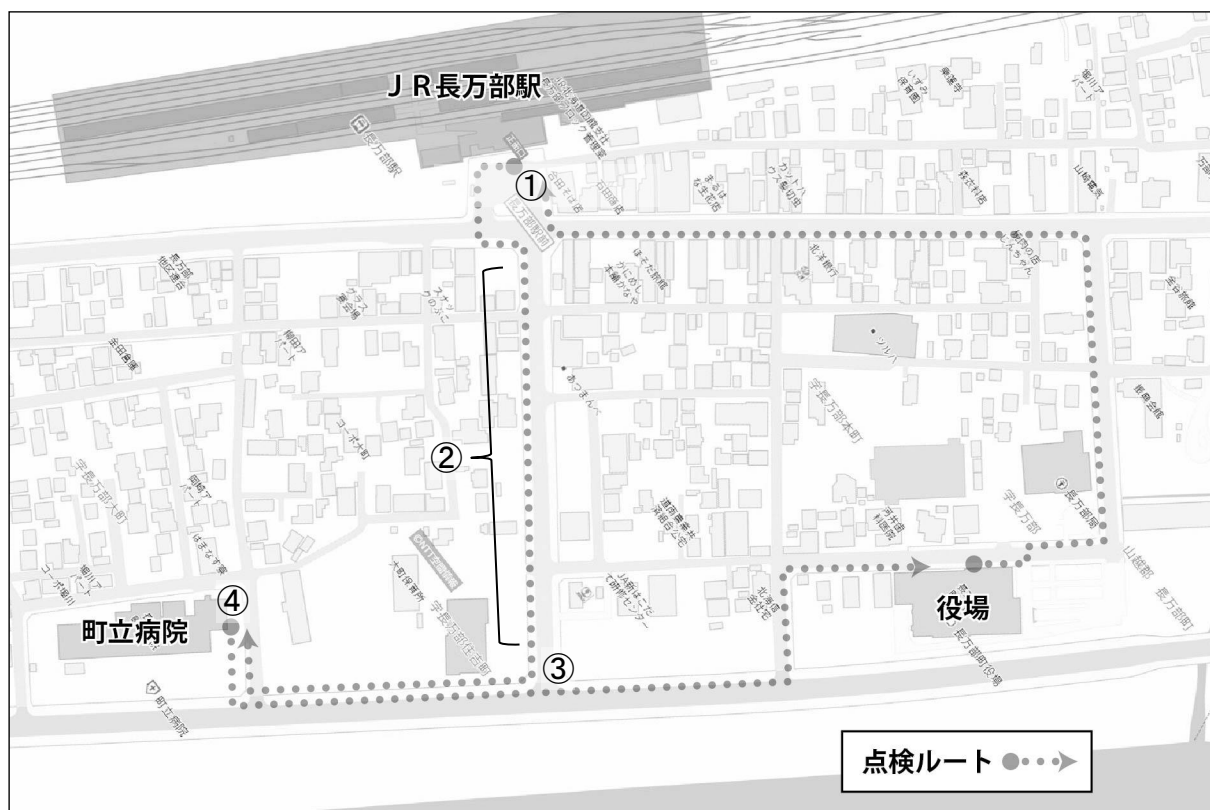
番号	内容
①	・傾斜があり一人で車椅子をこぐには厳しい 歩道に流れていきそうになり危険 ・役場前は整備されている ・歩道のナナメ、スロープの勾配 ・郵便局前の歩道は歩きにくい。 
②	・マンホールとの段差（歩道内） ・視覚障がい者ブロックがマンホールなどで途切れているのは大丈夫だろうか？（各所）

番号	内容
③	・ カラー歩道で美しいが 一枚一枚段々になっている舗道が同色で見づらい ・ 歩道タイル、買物カートには凹凸が気になる。舗装面はなめらかなほうが、カートや車いすには楽
④	・ 舗道がせまい ・ 段差（北電の角）
⑤	・ 舗道がせまい 電柱があると更にせまくなる ・ 甘太郎前の歩道導線上にパイプがあり気になった。 ・ 鈴木製菓前～甘太郎 幅狭い ・ 電柱が歩道内にあるので、じゃまでした。 ・ 歩道せまい、2m以上は必要
⑥	・ 幅狭い ・ 電柱が歩行の支障 ・ 歩車道の凹凸、古い道路のため気になる
⑦	・ 車イス二台をかわすのがこんな所がある ・ 本町商店街、今現在では街路灯、電柱がバラバラに建っていて、商店の店先もバラバラで歩きにくいと感じる。店に入るにも段差のある店があり入りづらい。 ・ 電柱がない歩道をイメージした ・ 車イスでは歩道の幅がせまい。 ・ 歩道がせまく車いす同士のすれ違いがむずかしい所がある    

番号	内容
⑧	・ 駅前ロータリーの舗装がデコボコで車椅子はもちろんこぐには厳しいが、足元がおぼつかない老人にも危険 ・ 駅構内のアスファルトが全体的にいたんでいる印象 ・ 駅前広場の舗装凹凸、ヒビ割れひどい ・ 歩くのと違い車イスではデコボコが大変多いと感じました。  
番号なし	・ 駅前舗道、凹凸、ヒビ、段差等によりキケンであった。 ・ 本町通り～舗道幅は全体的に狭い、電柱も障がいとなっており、景観からも、電柱の地中化、セットバック等検討が必要と思われる。 ・ 駅前から直線国道～抜ける歩道 現在の歩道に段差があり、雨水の流れを良くする為か、ななめにかたむきのある所は、車イスが道路側によっていく傾向がある ・ 役場から本町商店街に入るまでの歩道は十分ですが商店街に入ると歩道はせまく車いす等は通りにくい。

② J R長万部駅～町立病院

チェックポイント

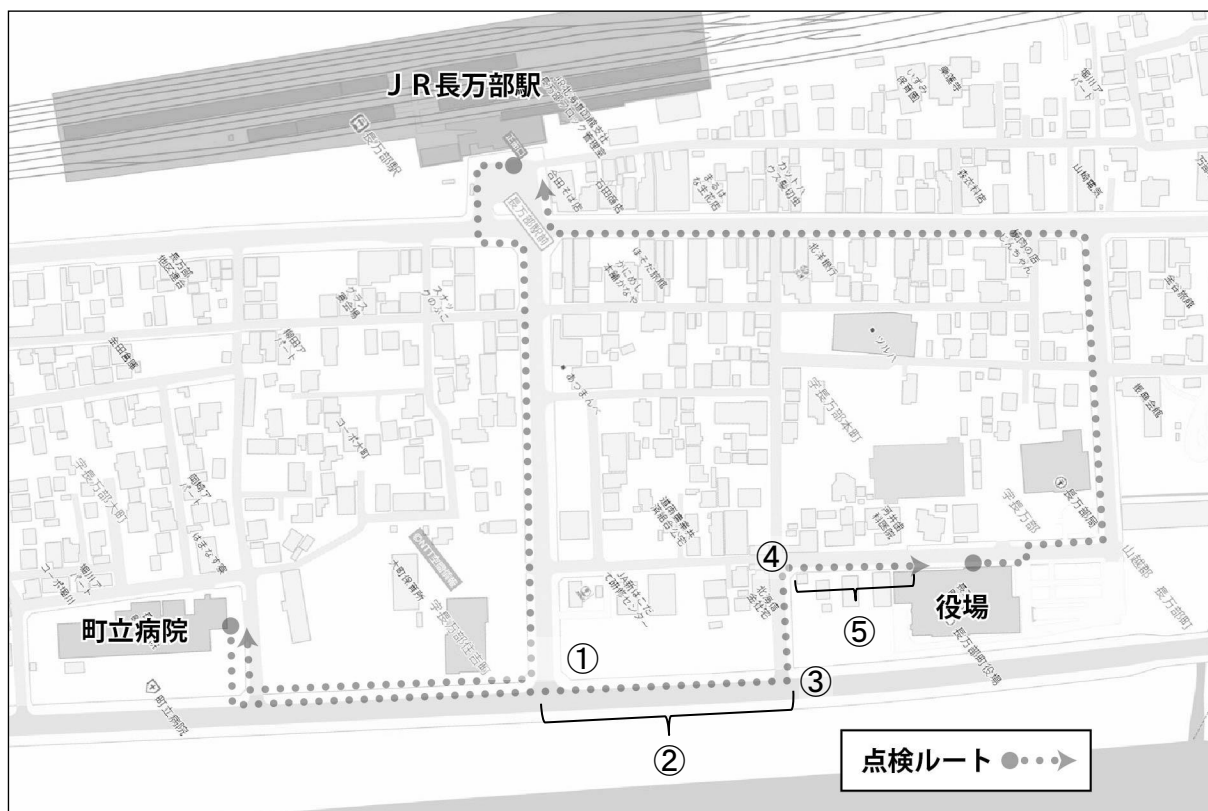


番号	内容
①	・ 駅前→海岸へ 歩道は整備されているが舗道の設置はなかった
②	・ 舗道の幅はたっぷりあって良い ・ とてもよい（花壇をきれいにしたいが…）  
③	・ どこも交差点の段差がめだつ

番号	内容
④	・ 舗道半分、凹凸がキケンであった。 ・ 町立病院のスロープは危険、つなぎ目が特に！どの舗道にも云えるが、少し傾斜があるのはいたしかたないのだろうけど、一人で車椅子で歩くには、ハードルが高すぎる ・ 町病のスロープ 車イス単独ではきついと感じた 傾斜の角度はどうか？ ・ 町立病院のスロープの終点と、舗装の切れ目に段差があり危ないと感じた。 ・ 町病スロープ高低差（1mm以上？）終点の段差 ・ 歩道（町病前）段差 ・ 町病のスロープとタイルの歩道のつなぎ目の段差が危険 ・ 町立病院入口のスロープの下舗装の段差がひどい（デコボコ） ・ 車イスの場合、段差が2cmを超えるとかなりショックがある。 ・ バリフリスロープと歩道のつぎ目が危険。  
番号なし	・ 駅前の歩道、デコボコが多かった ・ 防砂林公園化（松の間引き、笹刈り）あつまんべ前の遊休地→駅～町病間 ・ もう少し病院や役場の案内表示があると良い。歩道は比較的良かったと思う。 ・ 駅のまわりの歩道の舗装は非常にわるく、歩きにくい。駅から町立病院までも歩道の幅は良いが段差が非常に多く車いすで歩くには大変な気がした。

③ 町立病院～役場

チェックポイント



番号	内容
①	・防潮堤を越えられるスロープが無い（海が見えない）
②	・国道の歩道でも交差点は段差が目立っていた ・海側に行く道が無い。
③	・角の勾配きつ過ぎ ・歩道の傾斜がきつい。

番号	内容
④	・ラルズ方向に行けない（車道のみ） ・歩道は雨水処理のため傾斜がついているが、車イスだと自力走行の場合、車道側へ寄って行き、落ちそうになる危険性がある。（各所） ・先に歩道がない。回遊性がないのはもったいない。  
⑤	・海から→役場までの歩道はわりと歩きやすかったが舗道の設備はない
番号なし	・点字ブロックは視覚障がい者にとって大事でしょうが、車椅子や杖をつく人にとっては点字ブロックが邪魔とを感じる。どちらにも歩きやすい道路をつくるには、舗道の幅を拡げるしかないのだろう。 ・全般に案内板が少なすぎる（車なら良いが徒歩だと気づかない） ・小さな段差 車イスでは気になりました。5号線ぞいに案内表示がもっとあると良い ・役場前の歩道は整備されているが、離れるにしたがってせまくなっていて歩きにくい。

④ 感想など

- ・本町通り道路拡幅、駅前の開発が今後すすむと思われ、バリアフリー化は問題ないと思われるが、景観を考えた中 無電柱化は検討願いたい。
- ・ベビーカー、車イスは目的地までスムーズにはいかないと思う。新しく整備する時にはよく考えて設計を希望する
- ・車いすで歩くには整備が必要。歩道全体が道路側に傾斜がきつく、道路に車いすが向かっていきやすくて、あぶない。

3. 令和2(2020)年度 まち歩き点検の実施

(1) まち歩き点検の目的

駅や公共施設、スーパー等の多くの町民が利用する施設やその施設へ至る道路などで、移動の障壁（バリア）となっている場所はどこなのか、「長万部まちづくり推進会議」の委員及び構成員（※76ページ参照）が実際にまちを歩いて点検します。

今回は将来新幹線駅が設置される駅西側のまち歩き点検を実施しますが、現状では道路等の基盤が未整備であり、バリア等の点検は出来ません。

このため、今回は駅西側に集積している公共施設の入り口や施設間の道路状況の確認を主な目的とします。

あわせて、将来の新幹線駅舎が建設される土地の現状を確認することも目的とします。

(2) まち歩き点検の視点

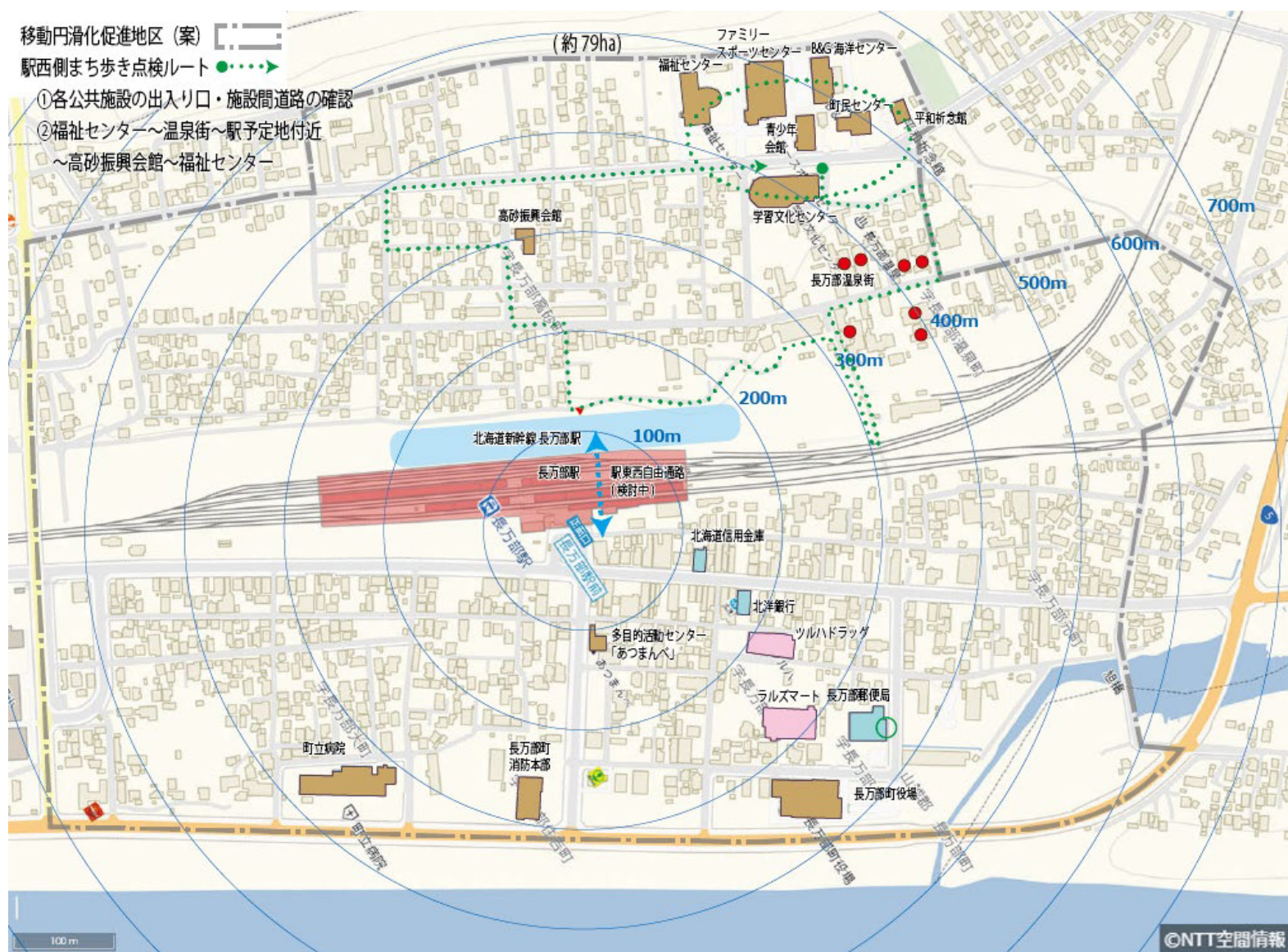
【道路（移動経路）】

- ・ 歩道の幅（車いす同士がすれ違うためには2.0m以上必要）
- ・ 電柱や看板などの障がい物の有無
- ・ 案内表示の状況
- ・ 舗装の状況（凸凹、ヒビなど）
- ・ 交差点等での車道との境界の段差、勾配、点字ブロック

【出入口】

- ・ 主要な施設と道路とのつながり（段差、出入口の状況等）

まち歩き点検ルート図



(3) 当日のプログラム

開催日：令和2（2020）年9月11日 金曜日

- 1 3 : 3 0 福祉センター大会議室集合・本日の流れを説明
- 1 3 : 3 5 福祉センター周辺に立地する公共施設と道路とのつながり、出入口の状況等をチェック（車いす使用）
- 1 3 : 5 0 福祉センター出発
温泉街を經由、駅予定地視察（駅舎の検討状況について説明）
- 1 4 : 2 0 福祉センター

(休憩 5 分)

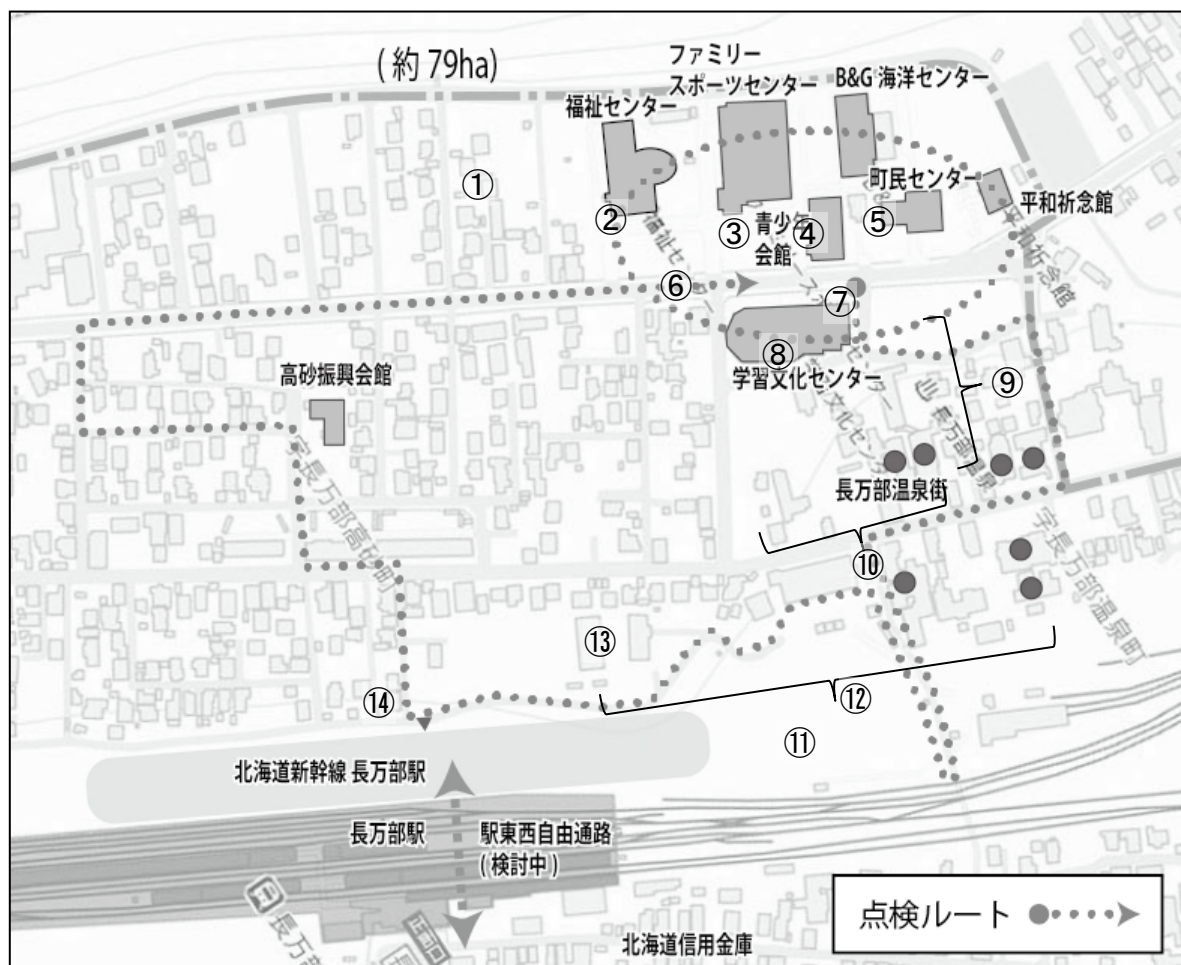
- 14:25 福祉センターにてチェックシート記入（10分程度）
- 14:35 まち歩き点検終了

(4) まち歩き点検チェックシート

駅西側まち歩きチェックシート その他感想など

(5) 実施結果

チェックポイント



番号	内容
①	・スロープが急すぎる。 ・車いすではキビシイ
②	・スロープの先に段差、水切の為車イスだと危険。 ・車いすではキビシイ
③	・スロープが無い。
④	・スロープの下に段差あり危険。 ・鉄道むら展示物の配置（屋外）の見直し（表側から良く見える様にしてはどうか？）
⑤	・スロープが無い。
⑥	・スロープが急。 ・車いすではキビシイ

番号	内容
⑦ (公共施設全体)	・スロープの高サ？公共施設 ・公共施設は、古い施設ばかりでバリアフリーとはにつかわしくない。改修が必要と思う。またスロープはあったが実際に体験してもきつかった。もう少しゆるやかでなきゃいけない ・施設のスロープは一人で車椅子に乗る方には、きびしい勾配でした。また、スロープにしていなくても傾斜が多いので、検討が必要だと思います。施設がどれも古いのでバリアフリーについても検討。 ・各施設の車いす対応が出来ていないと思いました。建築年が古い事もあり、仕方がないと思いますが、今後改善が必要だと思います ・全ての施設のスロープの勾配がきつい    
⑧	・長万部温泉源泉初めて知る ・長万部温泉源泉の看板があった方が良くかも？
⑨	・排水側溝のフタなど老朽化していて、車いすやベビーカーの車輪がひっかかる。又、高齢者や障がい者でも歩いているとつまづく可能性がある。  

番号	内容
⑩	・温泉街の道路は、道幅、歩道なし等拡幅すべきだと思います。 ・舗装にヒビあり  
⑪	・温泉歩道橋に初めて行って見る
⑫	・函館本線側に道路を作ってほしいです。(理想は道道で)
⑬	・温泉街への遊歩道を作ってほしいです。(温泉を流して、誘導したいです)
⑭	・新駅との温泉地区、高砂地区との接続 等高低差もあり、現地確認で町と地区との協議が必要 ・駅裏も初めて歩く 新幹線の駅楽しみ ・新幹線駅を温泉街の方へずらしてほしい。(駅前ロータリーが作り易いと思います) ・西口駅前広場は自由通路と同じ高さにするのが望ましい。 ・駅入口との高低差をどうするか？ ・駅西口広場へのアクセス道路は高さの調整が必要 盛土にするのかどうかなど。  

○ 感想など

- ・ 主要施設とのアクセスと現地見た感想 協議が必要
- ・ 町内のすべての歩道がバリアフリー化されていない 電柱、看板、案内表示も不十分 段差も多く、利用しづらい現状です
- ・ 西側は地形上、段差があり、歩行者には利用しづらい状況です。駅舎周辺には新設するので、残土利用などしつつ、平坦な地形に整地して、旅行者、障がい者に利用しやすい駅周辺の開発をすべきだと思います。
- ・ 段差が多い、坂や悪い道路が多い、ゆるやかなカーブが少ない
- ・ スロープがある施設とない施設があり、新幹線開業を見据えると、補修すべきと思う。特に、B&G海洋センター、平和記念館はスロープはなかった。町民センターはスロープがあるにもかかわらず段差があり、これではスロープの効果が弱まる。福セから他施設へ移動する際の経路は狭く、車椅子が2台分通るスペースはなかった。全体的に経路の幅をもう少し広くするべき。公共施設から駅舎予定地までは傾斜があり、高齢者が歩くにはややきつい印象あり。高齢者の介護する人の視点からは、散歩しやすい経路づくりを検討されたい。
- ・ 全体的に未整備エリアが多く、改めて専門的見地から精査すべきかと思います。
- ・ センター通り以外の町中の道路に歩道がない。歩道の幅もせまいと思う。
- ・ 将来的な公共施設群構想も思考した上で、利便性の高い西側駅前開発を目指して欲しい。
- ・ 実際にまち歩きをして主要施設のバリアフリー対応の必要を改めて確認しました。スロープはもちろん、どの施設にも障がい者対応のトイレがありません。駅のみならず周辺のまちづくりも大切と思います。
- ・ 全体的に歩道が狭い。
- ・ 改めて歩いて見たが公共の施設の出入口が、ほとんど坂道になっていておどろき、障がい者にはやさしくない公共施設でした。
- ・ 温泉街については歩道があった方が安全だとは思いましたが、幅員の的には厳しい環境であると感じました。
- ・ 歩道自体がない道が多い。舗装は凸凹、ヒビだらけ。道わきにはコンクリートのフタがついた側溝があるが、視覚障がい者車いす利用者はフタとフタの間の穴につまずいてしまう。道路ではないが、施設駐車場に身障者用駐車場があったほうがよい。せめて福祉センターにはあった方がよい。

4. 長万部町バリアフリーマスタープラン策定経過

年月日	事項・内容等
令和元年度	
令和元年11月5日	第1回長万部まちづくり推進会議開催（バリアフリーマスタープランの位置づけ・策定趣旨、町民アンケート調査について説明）
令和元年11月中旬	町民アンケート調査開始
令和元年12月19日	第1回長万部まちづくり推進庁内プロジェクトチーム会議開催（バリアフリーマスタープランの位置づけ・策定趣旨について説明、町民アンケート結果報告（速報））
	第2回長万部まちづくり推進会議開催（町民アンケート結果報告（速報））
令和2年3月3日	第3回長万部まちづくり推進会議開催（町民アンケート結果報告）
令和2年3月4日	第2回長万部まちづくり推進庁内プロジェクトチーム会議開催（町民アンケート結果報告）
令和2年3月16日	令和元年度まち歩き点検の実施及び第4回長万部まちづくり推進会議開催
令和2年度	
令和2年9月11日	令和2年度まち歩き点検の実施及び第5回長万部まちづくり推進会議開催
令和3年1月25日	長万部都市計画審議会開催（長万部町バリアフリーマスタープラン（案）（長万部町移動等円滑化促進方針）について説明）
令和3年1月26日	第8回長万部まちづくり推進会議開催（長万部町バリアフリーマスタープラン（案）（長万部町移動等円滑化促進方針）について説明）
令和3年1月27日	第5回長万部まちづくり推進庁内プロジェクトチーム会議開催（長万部町バリアフリーマスタープラン（案）（長万部町移動等円滑化促進方針）について説明）
令和3年2月5日	町民意見を町ホームページで公募（パブリックコメント）

5. 長万部まちづくり推進会議 委員及び構成員名簿

		新 任 (R2. 9. 18～)	前 任 (～R2. 9. 17)	所 属	備考
委 員	1	佐 野 孝 一	佐 野 孝 一	長万部町和牛生産改良組合	
	2	三 原 智	三 原 智	長万部町畑作生産組合	
	3	種 市 大 嗣	種 市 大 嗣	長万部漁業協同組合	
	4	佐々木 留里子		長万部漁業協同組合	
	5	星 あ つ	星 あ つ	長万部漁業協同組合	
	6	横 手 将 人	横 手 将 人	長万部商工会	
	7	辰 巳 治 典		長万部商工会	
	8	寺 七 章 介	金谷 圭一郎	長万部観光協会	
	9	大 槻 千 春	大 槻 千 春	長万部観光協会	
	10	高 井 優 一	山 村 和 弘	長万部温泉利用協同組合	
	11	及 川 孝	及 川 孝	J R 北海道(株)函館支社 長万部駅	
	12	竹 内 謙	竹 内 謙	東京理科大学	
	13	大 川 正 裕	谷 範 裕	北洋銀行長万部支店	
	14	古 瀬 広 樹	古 瀬 広 樹	北海道信用金庫長万部支店	
	15	今 田 充	小笠原 大樹	長万部地区連合会	
	16	三 田 智 康	三 田 智 康	N P O 法人長万部町緑と樹を愛する会	
	17	山 内 恵 二	山 内 恵 二	N P O 法人おしゃまんべ夢倶楽部	
	18	赤 塚 顕 爾	赤 塚 顕 爾	北海道新幹線建設促進長万部町期成会	会長
	19	高 島 悟	高 島 悟	長万部を創造する会	副会長
	20	三 浦 祐 真	三 浦 祐 真	長万部を創造する会	
	21	川 添 隆 志	草 階 響 子	長万部町社会福祉協議会	
	22	佐々木 勉	佐々木 勉	公募	
	23	中 野 美 貴	辰 巳 治 典	公募	
	24	幡 野 千 丕 子		公募	
	25	佐 藤 智 美	佐 藤 智 美	公募	
	26	生 徒 会 役 員	生 徒 会 役 員	長万部高校生徒会	
	27	生 徒 会 役 員	生 徒 会 役 員	長万部高校生徒会	
構 成 員	28	北海道運輸局 消費者行政・情報課			
	29	北海道警察函館方面八雲警察署 交通課			
	30	長万部町身体障害者福祉協会			
	31	長万部町手をつなぐ育成会			

長万部町
バリアフリー
マスタープラン
(長万部町移動等円滑化促進方針)

長万部町